

現場説明書（技術的事項）

工事名 福山市庁舎便所改修工事

1. 現場の状況

本施設は、工事期間中も通常通り業務を行っています。

2. 留意事項

- ① 工事期間中は、第三者等の安全確保に細心の注意を払い、必要な対策を講じてください。
- ② 工事に伴う施設の利用は最小限にとどめてください。また、工事で既存建物等に損傷を与えないように必要な対策を講じてください。なお、損傷を与えた場合は受注者負担により速やかに復旧してください。
- ③ 作業工程は、監督員及び施設管理者と日程調整を密に行い、利用者へ影響のないよう努めてください。
- ④ 実施工程表は、契約後14日以内に提出してください。その際、作業工程は施設管理者及び監督員と十分に協議調整の上、作成してください。また、施工計画等の承諾は速やかに受けてください。
- ⑤ 本工事の受注者は、地元企業又は地場製品の活用に努めてください。
- ⑥ 騒音・振動作業等は、閉庁日に行ってください。

3. 別途工事

- ・給排水衛生設備工事
- ・電気設備工事

4 工事における「第20回世界バラ会議福山大会2025」ロゴの標示について

「第20回世界バラ会議福山大会2025」が2025年5月18日から24日にかけて開催されます。ついては、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識として、大会ロゴの標示のご協力をお願いします。

- (1) 使用するロゴは「第20回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿った指定のデザインとしてください。
- (2) 「第20回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要です。

- (3) 使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意してください。
- (4) 大会ロゴの標示は任意事項とし、標示する際は、発注課へ連絡してください。
- (5) ロゴ標示期限は2026年（令和8年）3月31日です。
- (6) デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合せください。

5 法定外の労災保険の付保について

本工事は、法定外の労災保険を見込んでいます。

福山市建築工事特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事名称 福山市庁舎便所改修工事
2. 工事場所 福山市東桜町3番5号
3. 工事概要 便所改修工事 一式
4. 別途工事 ・給排水衛生設備工事
・電気設備工事

- ※ 本工事の工期は設備工事の工期と工事検査期間としての14日を含んでいる。
- ※ 契約締結後14日以内に実施工程表を提出する。
- ※ 本工事受注者は、各官庁への必要な手続きを代行する。
(官庁手続きは、監督員の承諾後とする。)

II. 建築工事仕様

1. 共通仕様

- ・図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部監修、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版及び国土交通大臣官房官庁営繕部監修、建築物解体工事共通仕様書・同解説 令和4年版による。
- (1) 地元企業及び地場製品の活用
 - ・受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用に努める。
- (2) 質疑に対する協議等
 - ・設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は現場の納まり、取り合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監理者と協議する。

2. 一般共通事項

- (1) 適用基準等
 - ・建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事編) 建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修
 - ・建築工事安全施工技術指針 建設大臣官房官庁営繕部監督課長通達
 - ・建築基準法、消防法、その他関係法令
- (2) 監理(主任)技術者
 - ・工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。
- (3) 建築材料等
 - ・建築材料の製造所・製品及び施工業者などは、特記されたもの又は同等のものとする。ただし、同等とする場合は、監督員の承諾を受ける。また(社)公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出する。
- (4) 特別な材料の工法
 - ・建築標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とし、施工計画、要領書等を提出し、監理者の承諾を受ける。
- (5) 発生材の処理
 - ・「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に基づき適正に処理する。
- (6) 工事及び完成写真
 - ・着手前・工事中・完成時の写真は、サービス版カラー(A4版 写真帳)にて1部提出する。
- (7) 施工中の安全確保
 - ・施工に際しては、関係法令を遵守し工事現場内の安全を図ると共に、監督員と連絡協議を密に行い、第三者の安全に十分な注意を払い、その対策を講ずる。車両の出入り、材料の搬入、搬出時は特に注意する。
- (8) その他
 - 敷地内の工作物は、必要に応じて養生を行い、被害を及ぼした場合は受注者の責任に於いて復旧する。

3. 仮設工事

- (1) 工事用水、工事電力 ・利用できない。
- (2) 仮囲い ・カラーコーン程度
- (3) 現況確認 ・工事の着手に先立ち、関係者立会いのうえ図面に基づいて、敷地や周辺の状態等を確認する。
- (4) 搬出入経路養生 ・行わない(資材搬入の際は十分に注意すること)

III. 石綿含有建材の除去及び処理

1. 除去工事共通事項

- (1) 専門工事業者
 - 石綿含有建材の除去を直接行う専門工事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督職員に提出すること。

- (2) 作業主任者及び特別管理産業廃棄物管理責任者

- ①石綿作業主任者技術講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者のうちから、石綿作業主任者を選任し、管理させること。
- ②排出事業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させること。

(ただし、石綿含有成形板の処理工事を除く。)

- (3) 除去作業者

石綿含有建材の除去に従事する作業者(以下「除去作業者」という。)は、石綿障害予防規則(平成17年厚生労働省令第21号。以下「石綿則」という。)に基づく特別の教育を受けた者とする。また、除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断、じん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。

- (4) 施工計画書

施工に先立ち、処理工事に伴う石綿粉じんの飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査等の結果に基づき作成し、監督職員の承諾を受けること。

- (5) 表示及び掲示

- ①石綿作業主任者名と職務内容、関係者以外立入禁止、喫煙・飲食の禁止、石綿除去作業中等の表示を行う。
- ②石綿の有害性、取扱い上の注意事項、使用すべき保護具の掲示を行う。
- ③「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ(労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制措置、ばく露防止措置等)」を周辺住民の見やすい場所に掲示する。

- (6) 保護具・保護衣

- ①作業者は、作業内容に応じた呼吸用保護具、保護めがねを使用するとともに石綿が付着しにくく、付着した石綿が容易に除去できる作業衣又は保護衣を着用する。
- ②監督職員の現場作業の立入確認のため、保護具、保護衣を一式現場に備える。

- (7) 官公署その他への手続き

- ①労働安全衛生法の吹付け石綿除去作業の工事計画届(労働基準監督署)
- ②「石綿則」第5条第1項の規定による作業届(労働基準監督署)
- ③大気汚染防止法の特定粉じん排出等作業実施届出(都道府県知事)
- ④その他、各自自治体の条例又は要綱等により義務付けられている届出(特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書等)

- (8) 適用基準等

- *「建設・解体工事に伴うアスベスト廃棄物処理に関する技術指針・同解説」

2. 石綿含有成形板の除去

- (1) 養生等

石綿含有成形板の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて囲う。

- (2) 除去工法

- ①原則、散水等により湿潤化した後に手ばらしで行い、やむを得ず破壊しなければならない場合は十分に湿潤化した状態で作業を行う。
- ②除去した石綿含有成形板の集積及び積込みに当たっては、高所より落下しないことその他、粉じんの飛散防止に努める。
- ③破碎された石綿含有成形板は、湿潤化のうえ、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。

- (3) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等

- ①処分は原型のままとし、処分先は監督職員の指示による。
 - ・石綿含有石こうボード
 - ※埋立処分(管理型最終処分場)
 - ・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
 - ・埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設)

なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議すること。

- ②除去した石綿含有成形板を現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の廃棄物と分別して保管するものとし、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、保管場所には、石綿等の保管場所であることの表示を行う。

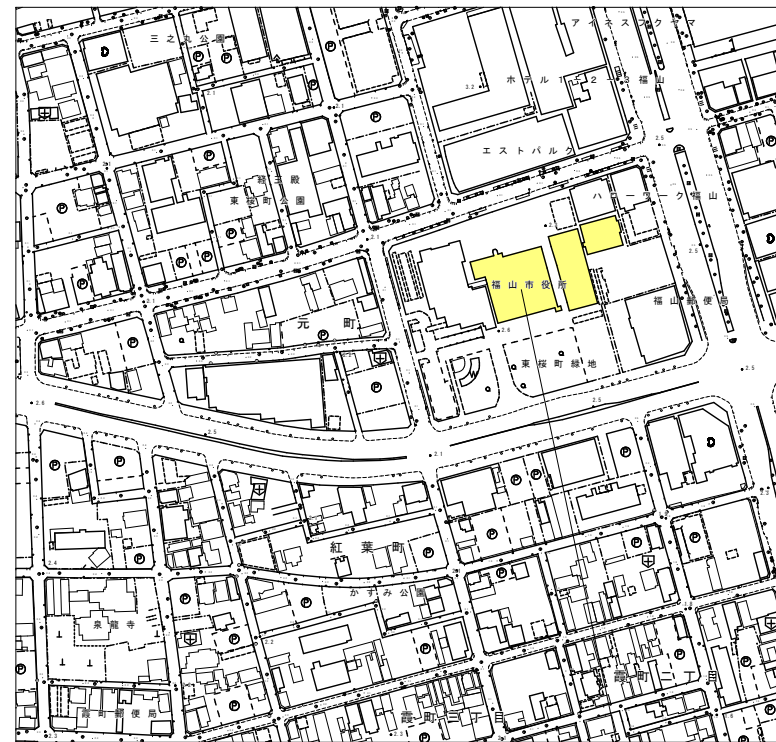
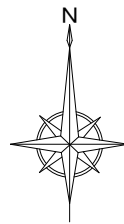
- ③石綿含有成形板の運搬に当たっては、運搬車輛の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。

- (4) 確認及び後片付け

除去作業が終了後、高性能真空掃除機で床等を清掃し、監督職員立会いのうえで、除去が十分行われていることを目視により確認する。

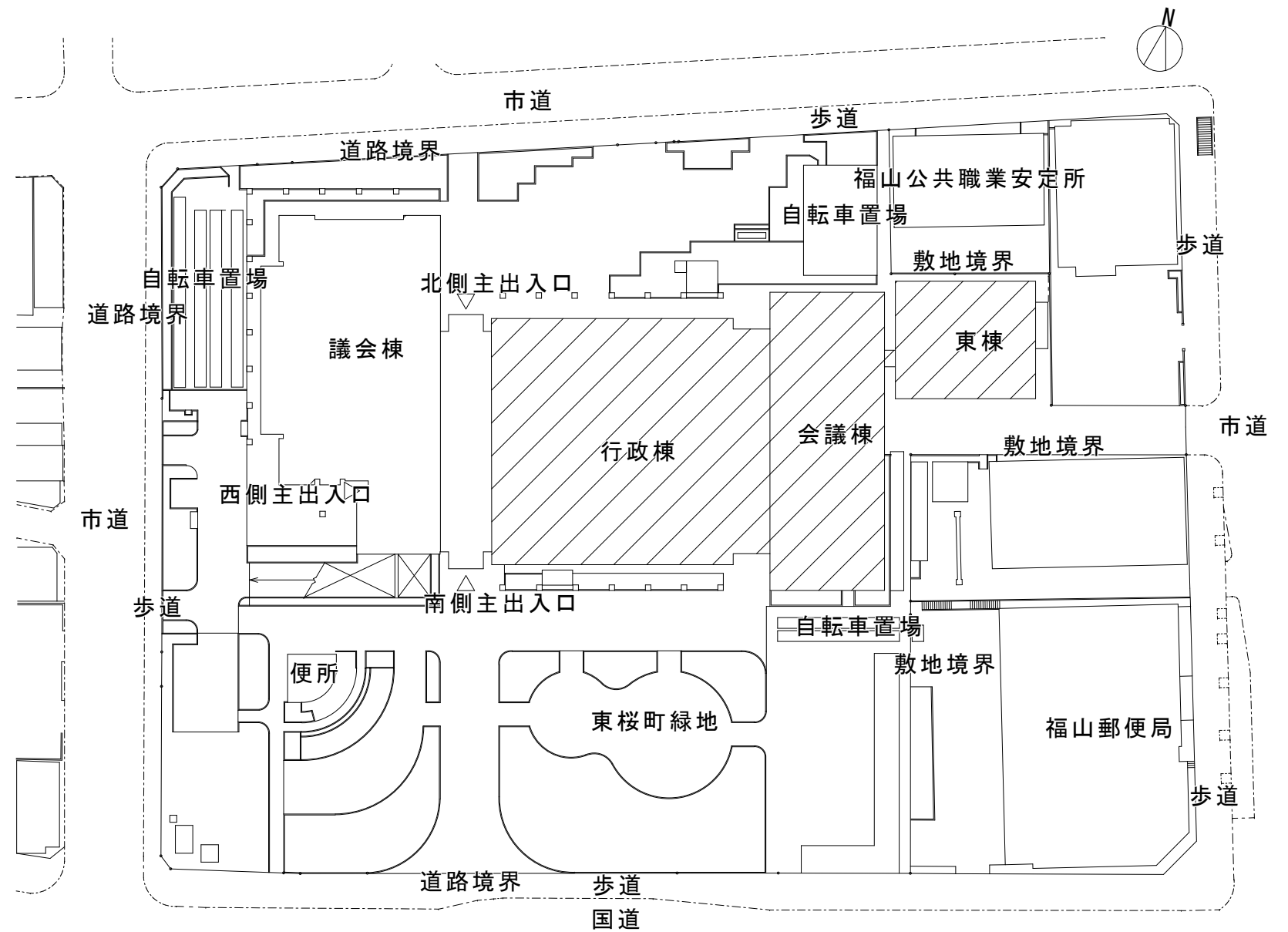
2023年 10月				
主 務	課 員	次 長	課長補佐	営繕課長

	図面番号 1/16	福山市建設局建築部営繕課	
図面名称	特記仕様書	工事名	福山市庁舎便所改修工事

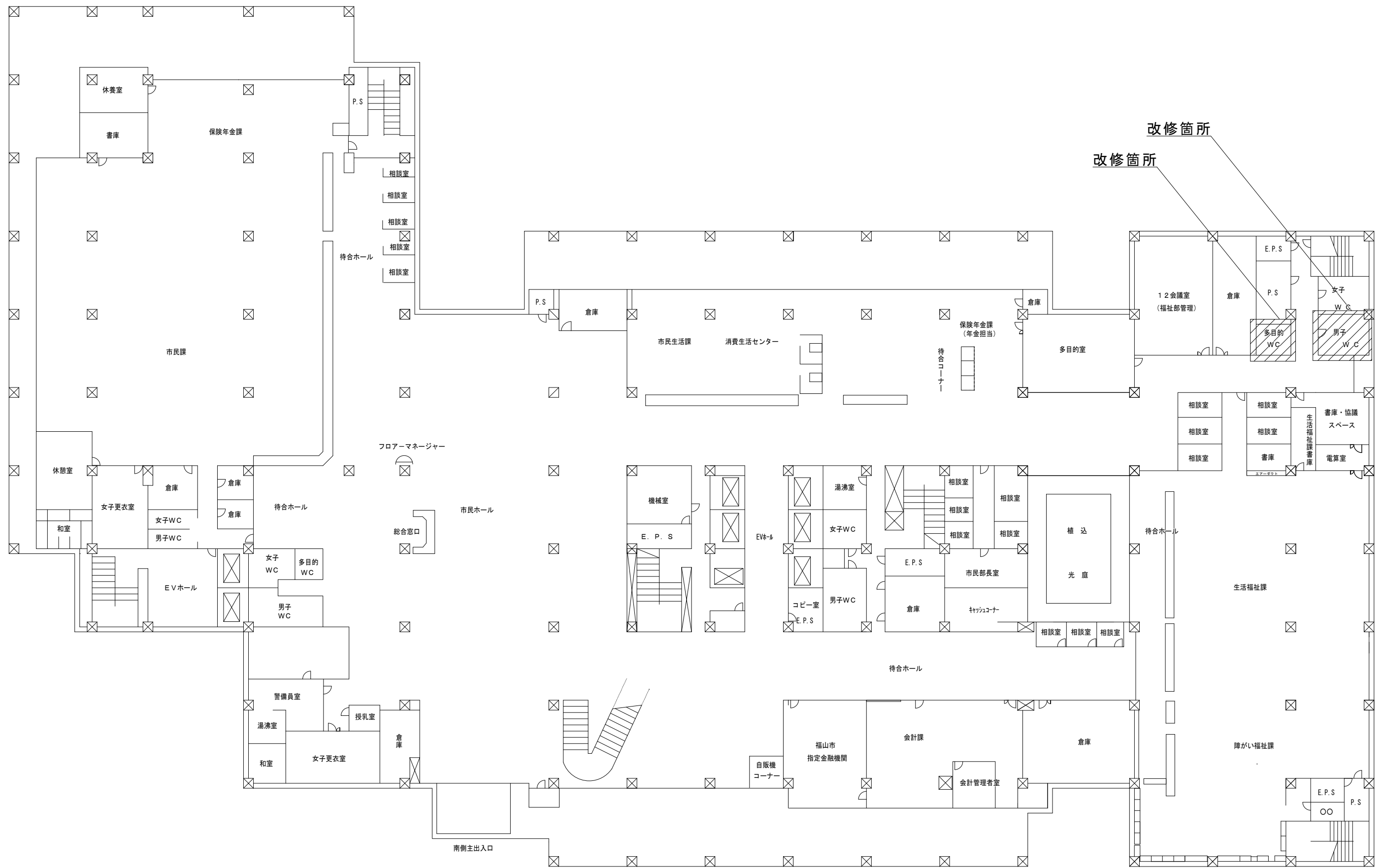


福山市東桜町3番5号


付近見取り図 S=1/2,500

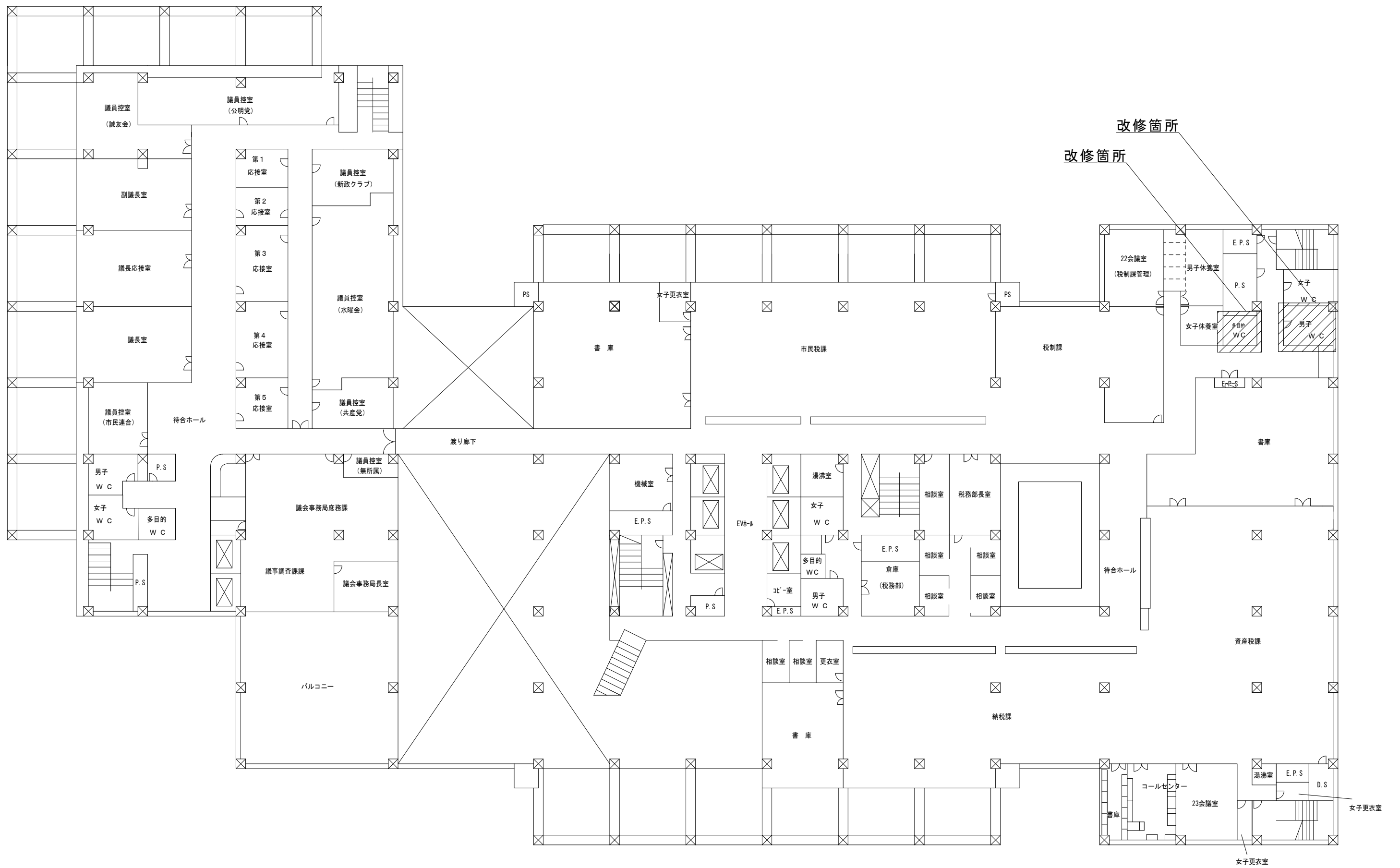


配置図 S=1/1,000




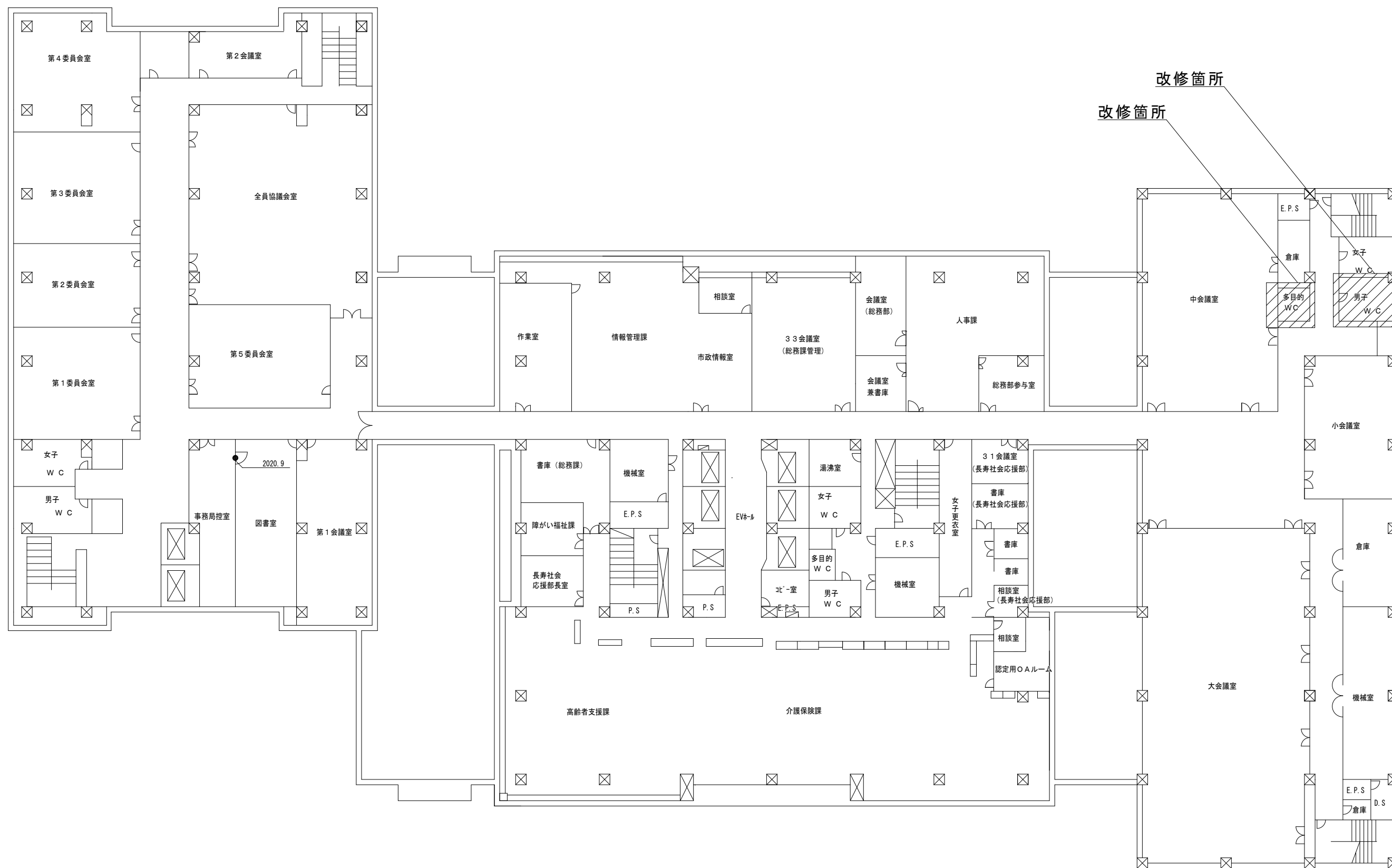
1階平面図 S=1/300

図面名称	各階平面図 (1階)	工事名	福山市庁舎便所改修工事	図面番号 3/16	 福山市建設局建築部営繕課
------	------------	-----	-------------	--------------	--



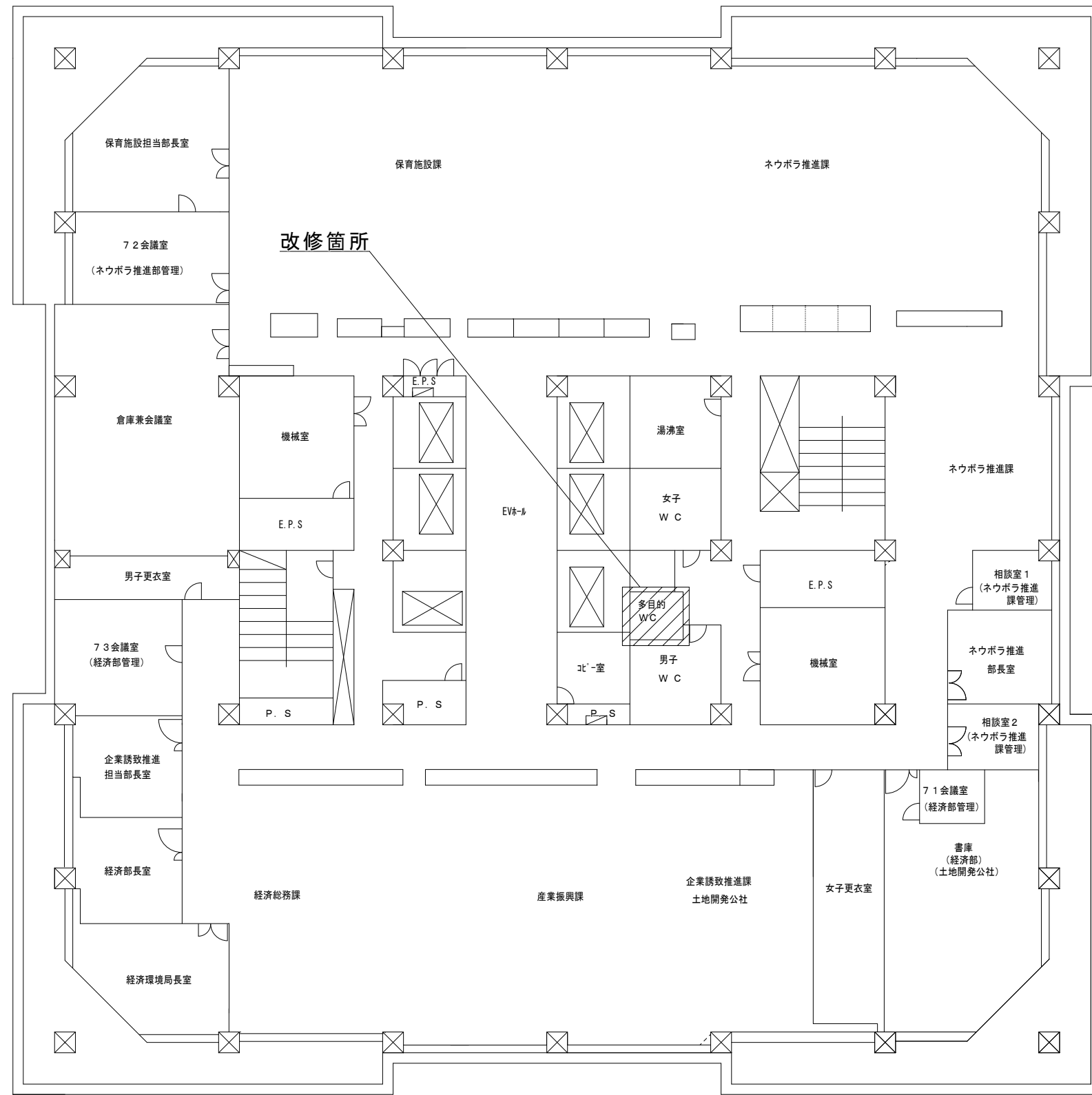
2階平面図 S=1/300

図面名称	各階平面図 (2階)	工事名	福山市庁舎便所改修工事	図面番号 4/16	 福山市建設局建築部営繕課
------	------------	-----	-------------	--------------	--

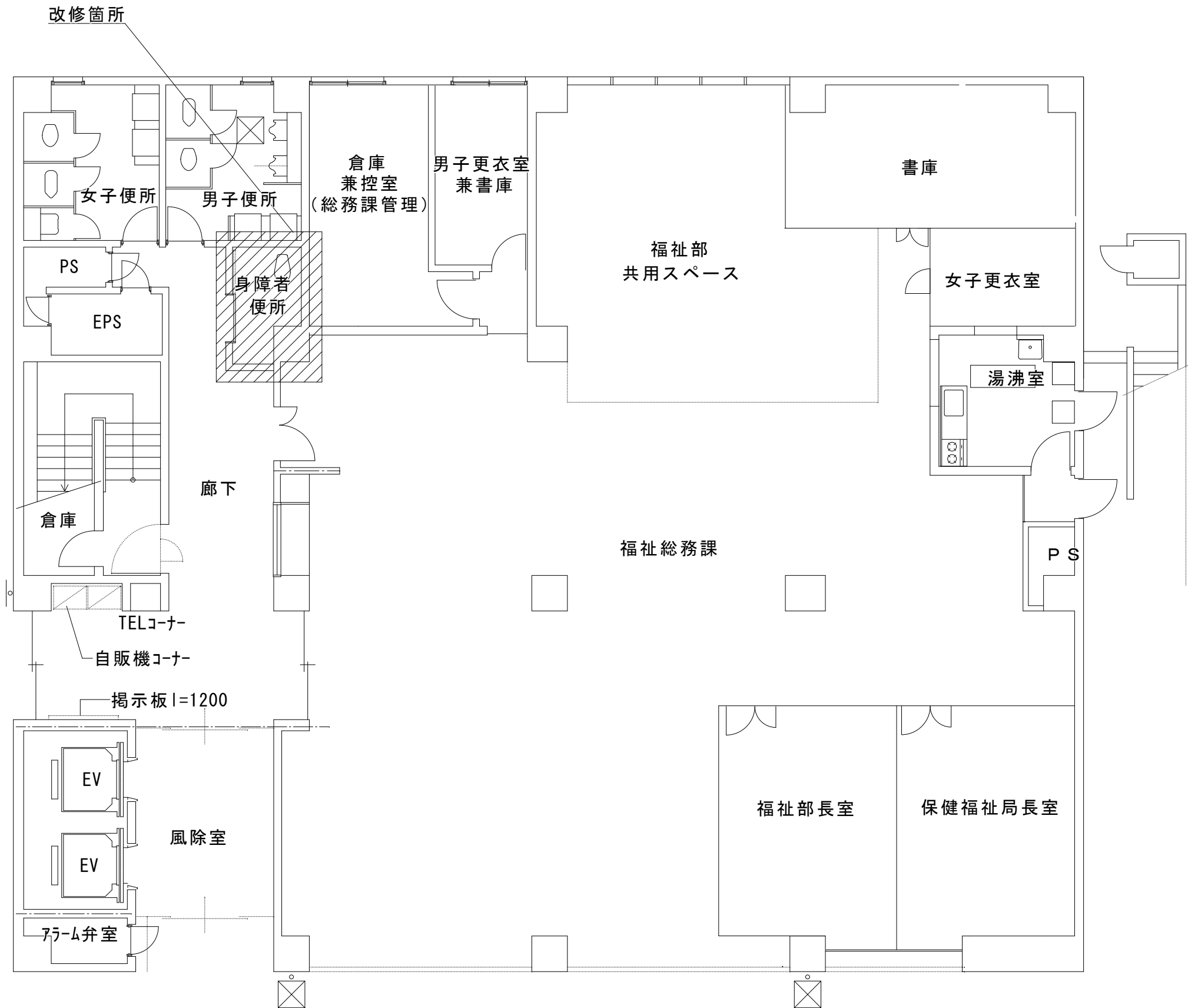


3階平面図 S=1/300

図面名称	各階平面図 (3階)	工事名	福山市庁舎便所改修工事	図面番号 5/16	福山市建設局建築部営繕課
------	------------	-----	-------------	--------------	--------------



2階平面図 S=1/200

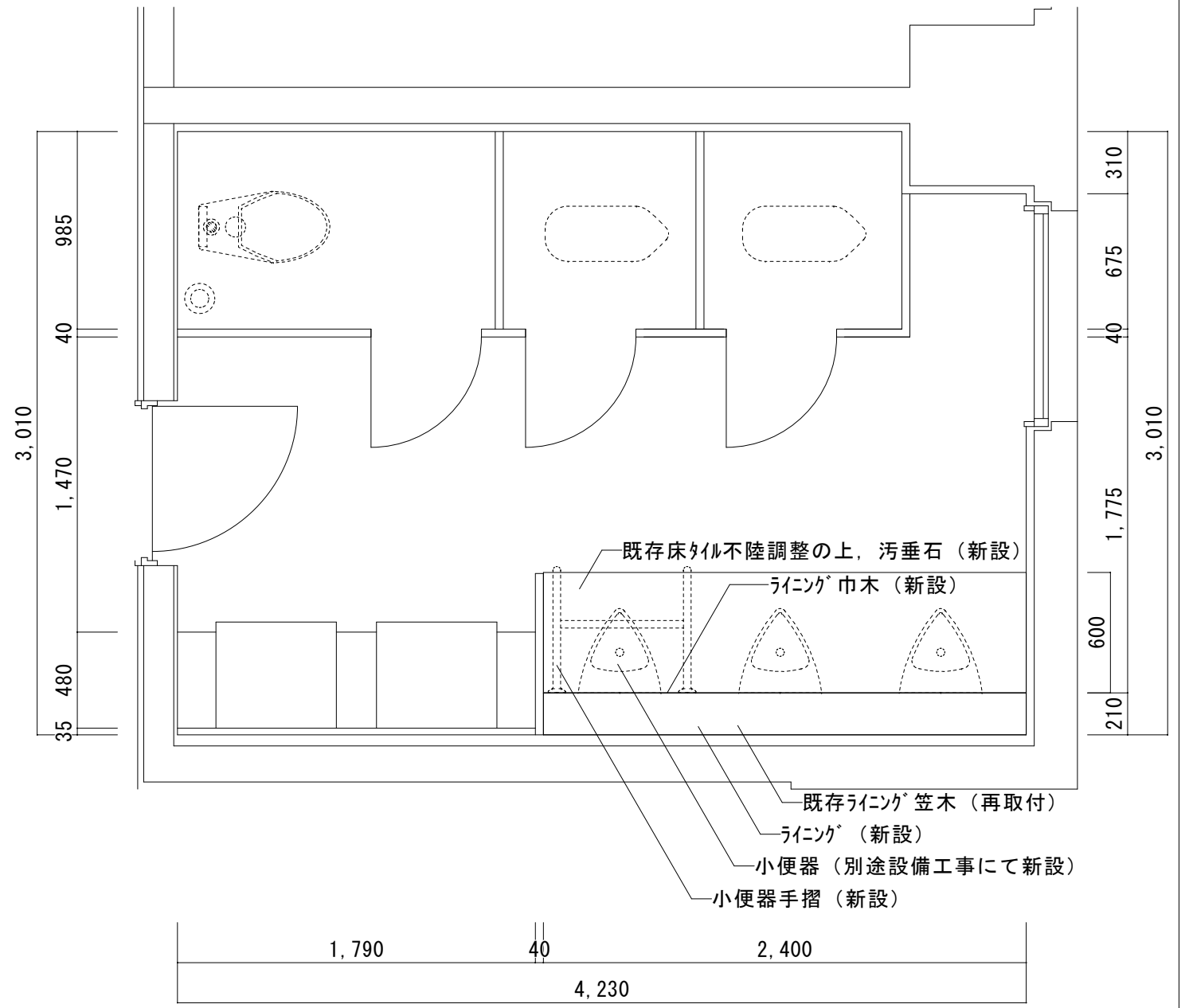
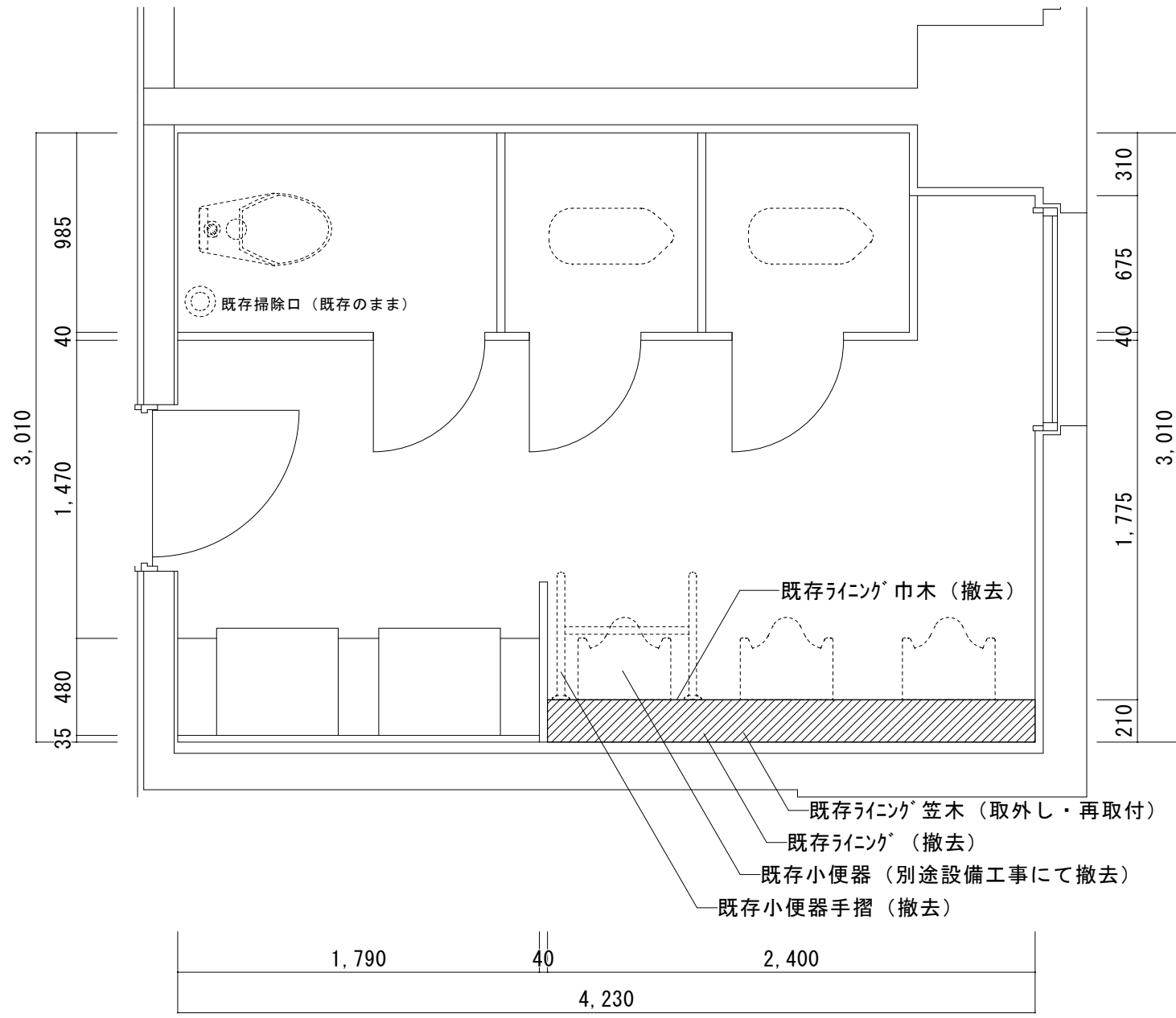


1階平面図(東棟) S=1/100

図面名称	各階平面図(東棟1階)	工事名	福山市庁舎便所改修工事	図面番号 7/16	福山市建設局建築部営繕課
------	-------------	-----	-------------	--------------	--------------

既存 会議棟1階男子便所 S=1/30

改修 会議棟1階男子便所 S=1/30



既存平面詳細図 S=1/30

改修平面詳細図 S=1/30

仕上表 改修前

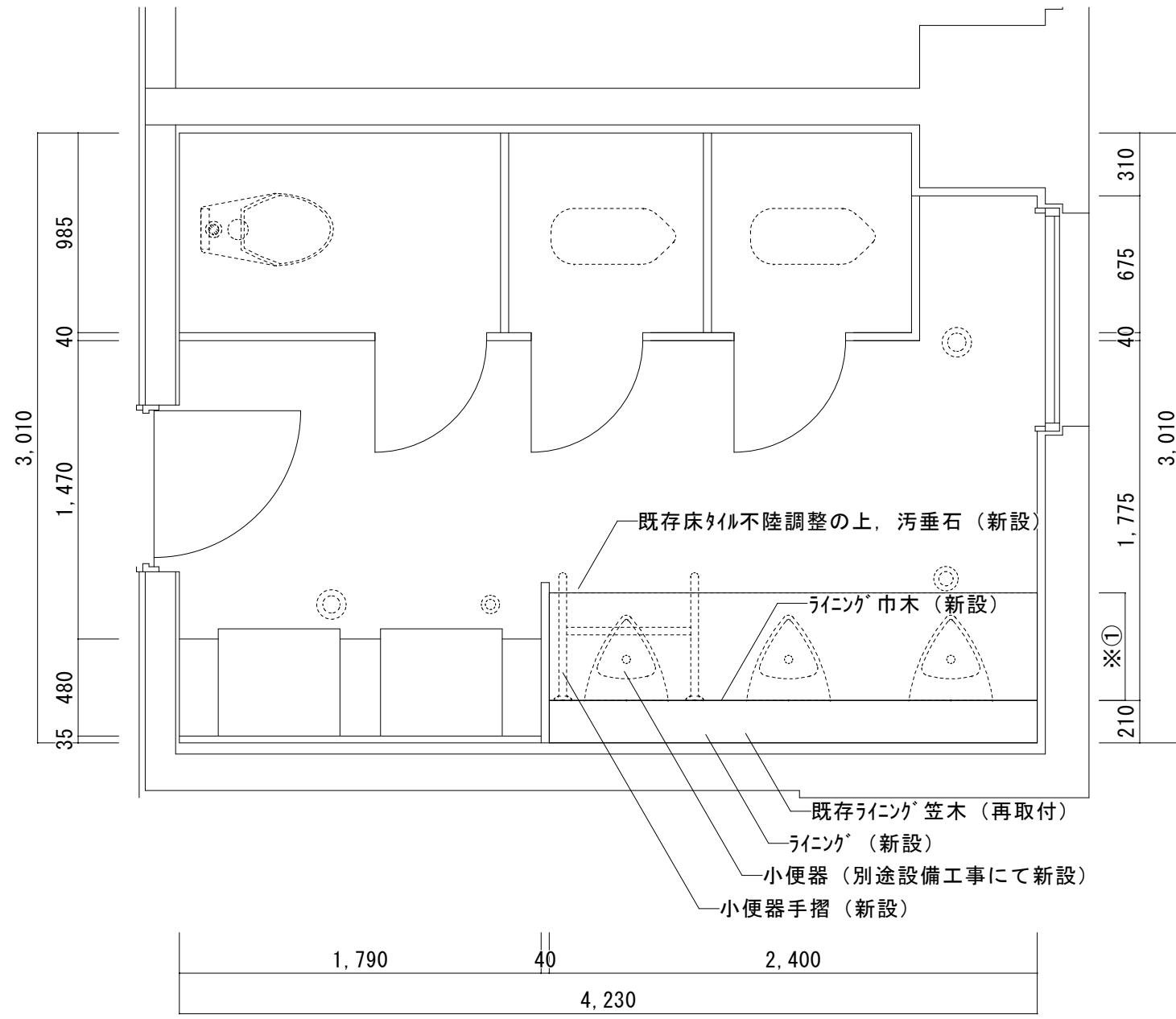
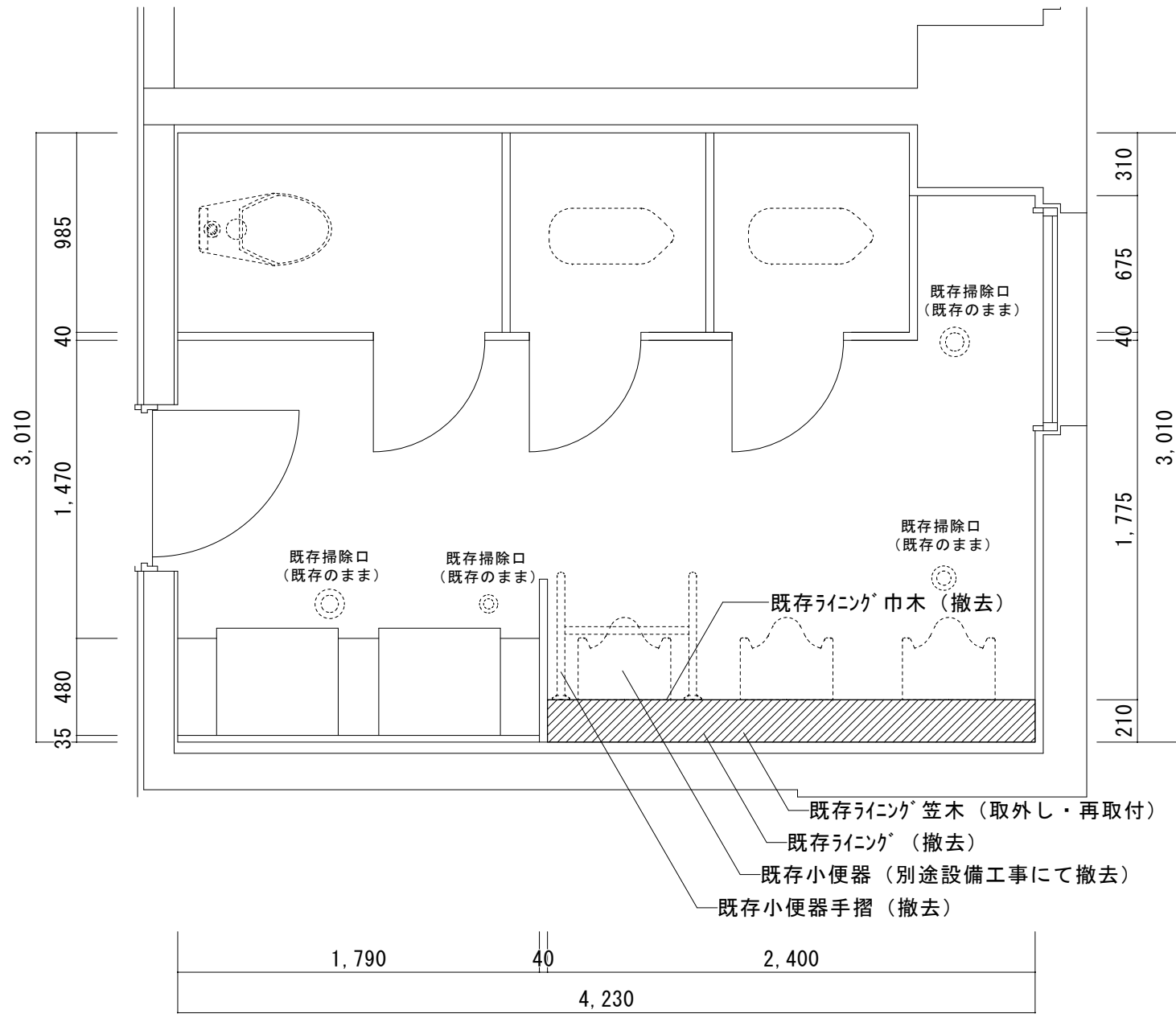
床	150角陶器質タイル貼り (既存のまま)
巾木	SUS製巾木 H=70 (既存のまま)
壁	下地: 耐水せっこうボード t=12.5 仕上: 化粧けい酸カルシウム板 t=6 (既存のまま)
天井	下地: せっこうボード t=12.5 仕上: ロックウール吸音板 t=9 (既存のまま)
便器	洋便器×1 和便器×2 (既存のまま) 小便器×3 (別途設備工事にて撤去)
トイレース	メラミン樹脂化粧板 SUSエッジ t=40 (既存のまま)
ラインク	下地: LGS・耐水せっこうボード t=12.6 仕上: 化粧けい酸カルシウム板 t=6 (アスベスト含有みなし撤去)
	SUS製笠木 (撤去)
	SUS製巾木 H=70 (撤去)
	小便器用手摺 (撤去)

仕上表 改修後

床	150角陶器質タイル貼り (既存のまま)
巾木	SUS製巾木 H=70 (既存のまま)
壁	下地: 耐水せっこうボード t=12.5 仕上: 化粧けい酸カルシウム板 t=6 (既存のまま)
天井	下地: せっこうボード t=12.5 仕上: ロックウール吸音板 t=9 (既存のまま)
便器	洋便器×1 和便器×2 (既存のまま) 小便器×3 (別途設備工事にて新設)
トイレース	メラミン樹脂化粧板 SUSエッジ t=40 (既存のまま)
ラインク	下地: LGS・耐水せっこうボード t=12.6 仕上: 化粧けい酸カルシウム板 t=6 (新設)
	笠木 TOTO MLK1同等品 (新設)
	SUS製巾木 H=70 (新設)
	小便器用手摺 TOTO T112CU22同等品 (新設) 汚垂石 TOTO AB680BR同等品 (新設)

既存 会議棟2階男子便所 S=1/30

改修 会議棟2階男子便所 S=1/30



既存平面詳細図 S=1/30

改修平面詳細図 S=1/30

仕上表 改修前

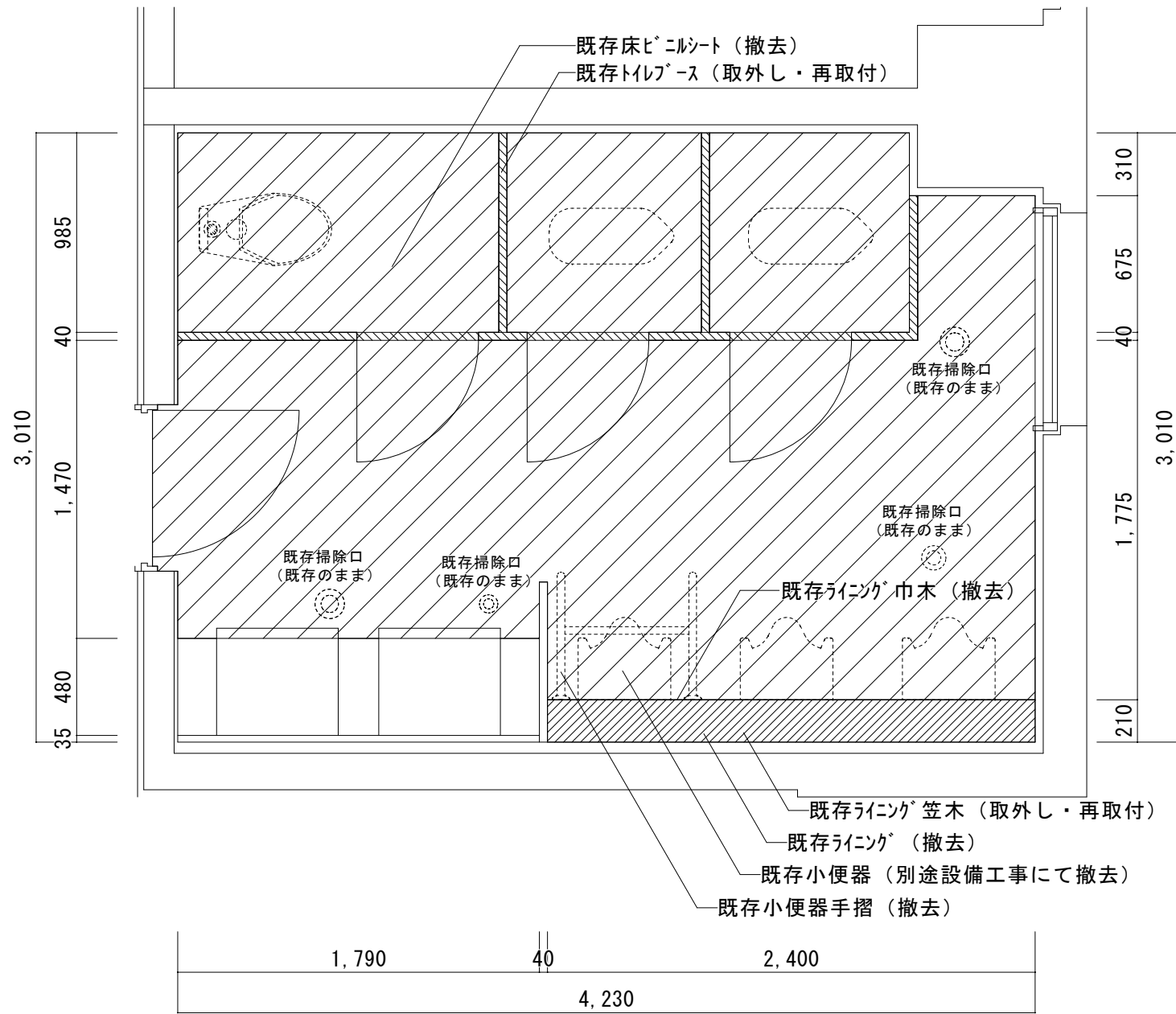
仕上表 改修後

床	150角陶器質タイル貼り (既存のまま)
巾木	SUS製巾木 H=70 (既存のまま)
壁	下地: 耐水せっこうボード t=12.5 仕上: 化粧けい酸カルシウム板 t=6 (既存のまま)
天井	下地: せっこうボード t=12.5 仕上: ロックウール吸音板 t=9 (既存のまま)
便器	洋便器×1 和便器×2 (既存のまま) 小便器×3 (別途設備工事にて撤去)
トイレース	メラミン樹脂化粧板 SUSエッジ t=40 (既存のまま)
ライング	下地: LGS・耐水せっこうボード t=12.6 仕上: 化粧けい酸カルシウム板 t=6 (アスベスト含有みなし撤去)
	SUS製笠木 (撤去)
	SUS製巾木 H=70 (撤去)
	小便器用手摺 (撤去)

床	150角陶器質タイル貼り (既存のまま)
巾木	SUS製巾木 H=70 (既存のまま)
壁	下地: 耐水せっこうボード t=12.5 仕上: 化粧けい酸カルシウム板 t=6 (既存のまま)
天井	下地: せっこうボード t=12.5 仕上: ロックウール吸音板 t=9 (既存のまま)
便器	洋便器×1 和便器×2 (既存のまま) 小便器×3 (別途設備工事にて新設)
トイレース	メラミン樹脂化粧板 SUSエッジ t=40 (既存のまま)
ライング	下地: LGS・耐水せっこうボード t=12.6 仕上: 化粧けい酸カルシウム板 t=6 (新設)
	笠木 TOTO MLK1同等品 (新設)
	SUS製巾木 H=70 (新設)
	小便器用手摺 TOTO T112CU22同等品 (新設)

汚垂石 TOTO AB680BR同等品 特注寸法 (新設) ※①既存掃除口と干渉しないように奥行き寸法を調整

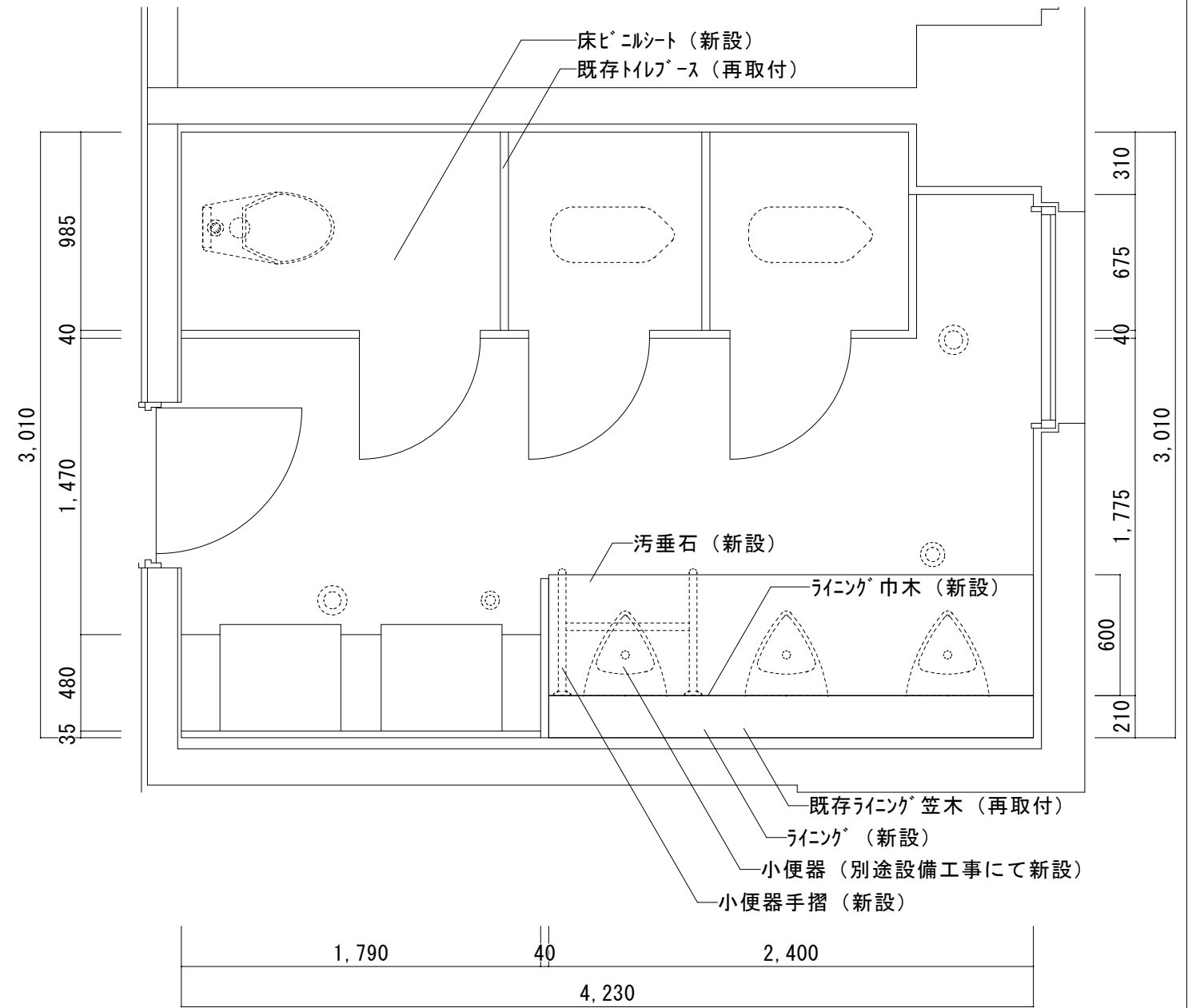
既存 会議棟3階男子便所



既存平面詳細図 S=1/30

- 床ビニシート改修範囲
- ライング改修範囲
- トイレース取外し・再取付範囲

改修 会議棟3階男子便所



改修平面詳細図 S=1/30

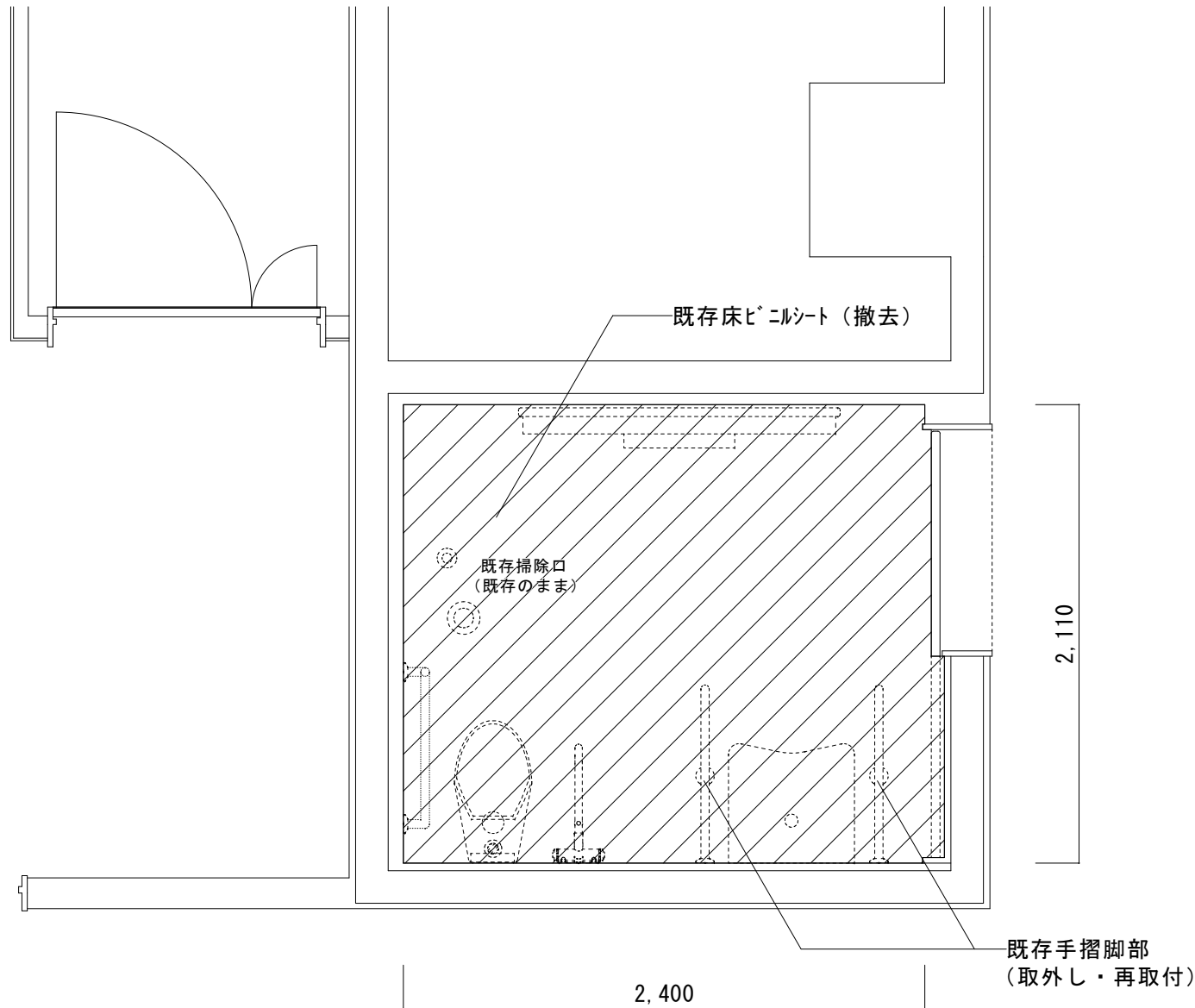
仕上表 改修前

床	ビニ床シートt=2.0 (アスベスト含有みなし撤去)
巾木	SUS製巾木 H=70 (既存のまま)
壁	下地: 耐水せっこうボードt=12.5 仕上: 化粧けい酸カルシウム板t=6 (既存のまま)
天井	下地: せっこうボードt=12.5 仕上: ロックウール吸音板t=9 (既存のまま)
便器	洋便器×1 和便器×2 (既存のまま) 小便器×3 (別途設備工事にて撤去)
トイレース	メラミン樹脂化粧板 SUSエッジ t=40 (取外し・再取付)
ライング	下地: LGS・耐水せっこうボードt=12.6 仕上: 化粧けい酸カルシウム板t=6 (アスベスト含有みなし撤去)
	SUS製笠木 (撤去)
	SUS製巾木 H=70 (撤去)
	小便器用手摺 (撤去)

仕上表 改修後

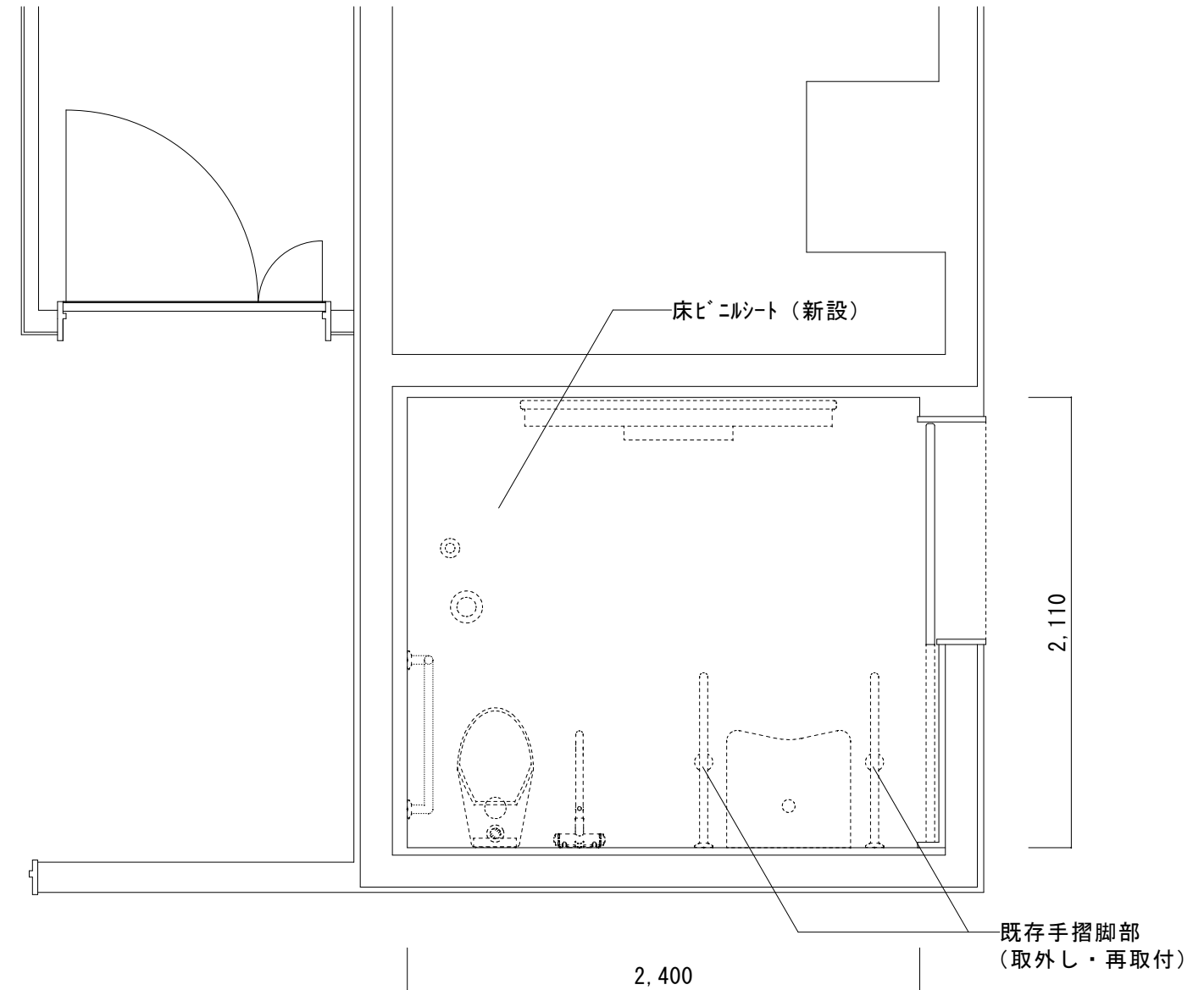
床	ビニ床シートt=2.0 (新設)
巾木	SUS製巾木 H=70 (既存のまま)
壁	下地: 耐水せっこうボードt=12.5 仕上: 化粧けい酸カルシウム板t=6 (既存のまま)
天井	下地: せっこうボードt=12.5 仕上: ロックウール吸音板t=9 (既存のまま)
便器	洋便器×1 和便器×2 (既存のまま) 小便器×3 (別途設備工事にて新設)
トイレース	メラミン樹脂化粧板 SUSエッジ t=40 (取外し・再取付)
ライング	下地: LGS・耐水せっこうボードt=12.6 仕上: 化粧けい酸カルシウム板t=6 (新設)
	笠木 TOTO MLK1同等品 (新設)
	SUS製巾木 H=70 (新設)
	小便器用手摺 TOTO T112CU22同等品 (新設) 汚垂石 TOTO AB680BR同等品 (新設)

既存 会議棟1階多目的便所



既存平面詳細図 S=1/30

改修 会議棟1階多目的便所



改修平面詳細図 S=1/30

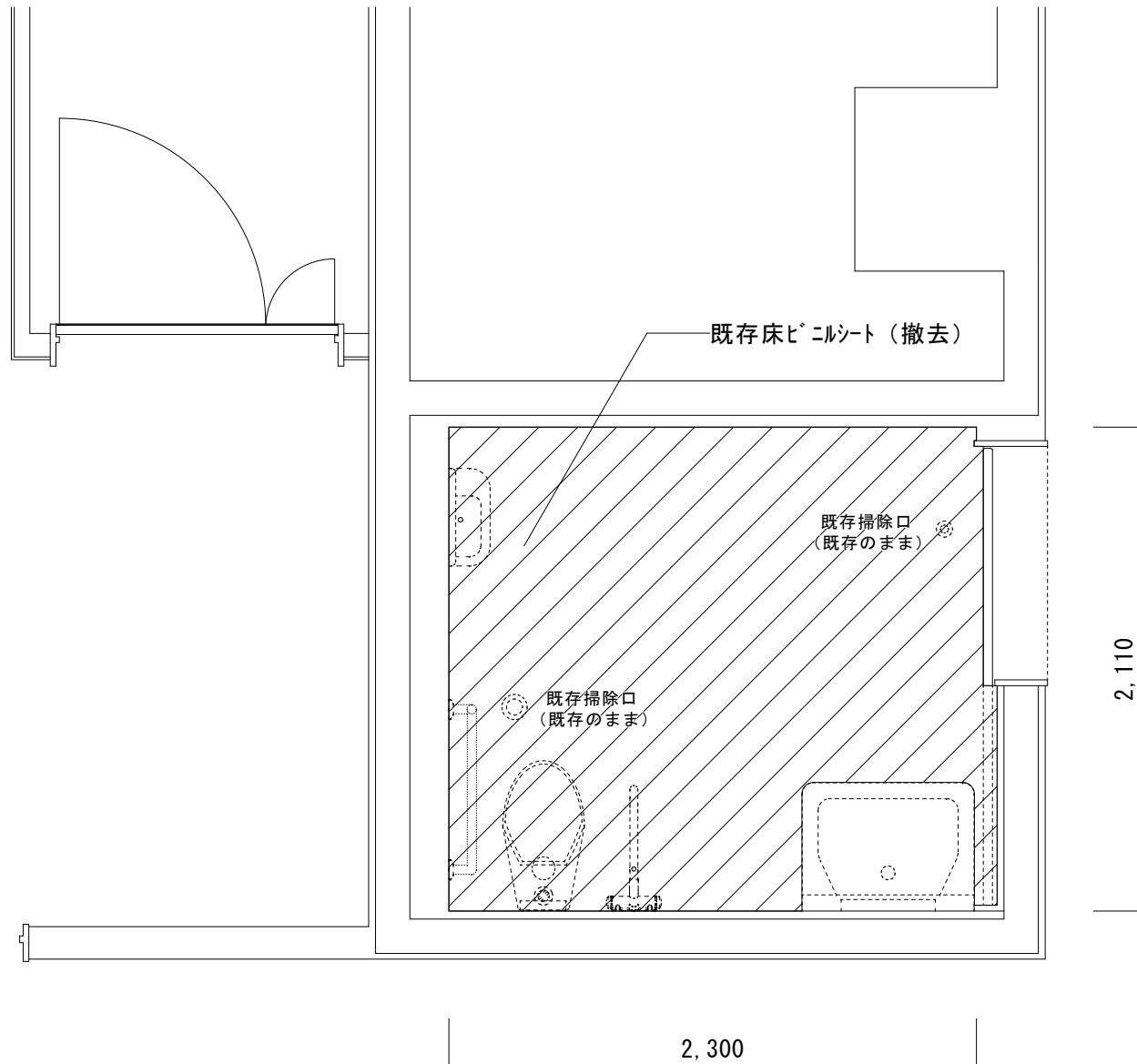
仕上表 改修前

床	ビニール床シートt=2.0 (7スﾊﾞｽ含有みなし撤去)
巾木	SUS製巾木 H=70 (既存のまま)
壁	下地: 耐水せっこうボードt=12.5 仕上: 化粧けいカルシウム板t=6 (既存のまま)
天井	下地: せっこうボードt=12.5 仕上: ロックウール吸音板t=9 (既存のまま)
便器	洋便器 (既存のまま)
その他	洗面台 (既存のまま)
	洋便器用L型手摺 (既存のまま)
	洋便器用はね上げ手摺 (既存のまま)
	洗面台手摺 (脚部のみ取外し・再取付)
	ユニバーサルシート (既存のまま)

仕上表 改修後

床	ビニール床シートt=2.0 (新設)
巾木	SUS製巾木 H=70 (既存のまま)
壁	下地: 耐水せっこうボードt=12.5 仕上: 化粧けいカルシウム板t=6 (既存のまま)
天井	下地: せっこうボードt=12.5 仕上: ロックウール吸音板t=9 (既存のまま)
便器	洋便器 (既存のまま)
その他	洗面台 (既存のまま)
	洋便器用L型手摺 (既存のまま)
	洋便器用はね上げ手摺 (既存のまま)
	洗面台手摺 (脚部のみ取外し・再取付)
	ユニバーサルシート (既存のまま)

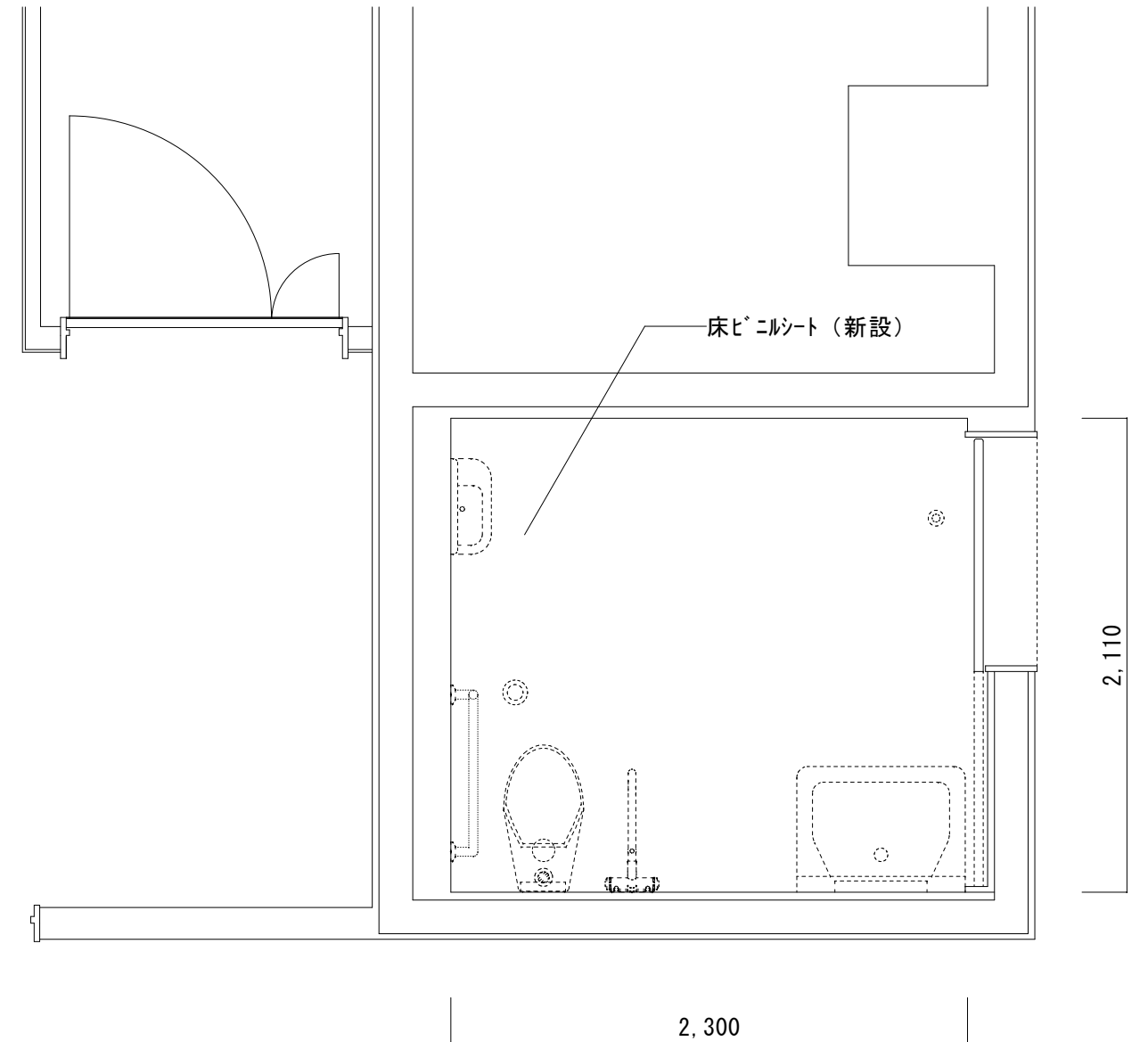
既存 会議棟2階多目的便所



床ビニルシート改修範囲

既存平面詳細図 S=1/30

改修 会議棟2階多目的便所



改修平面詳細図 S=1/30

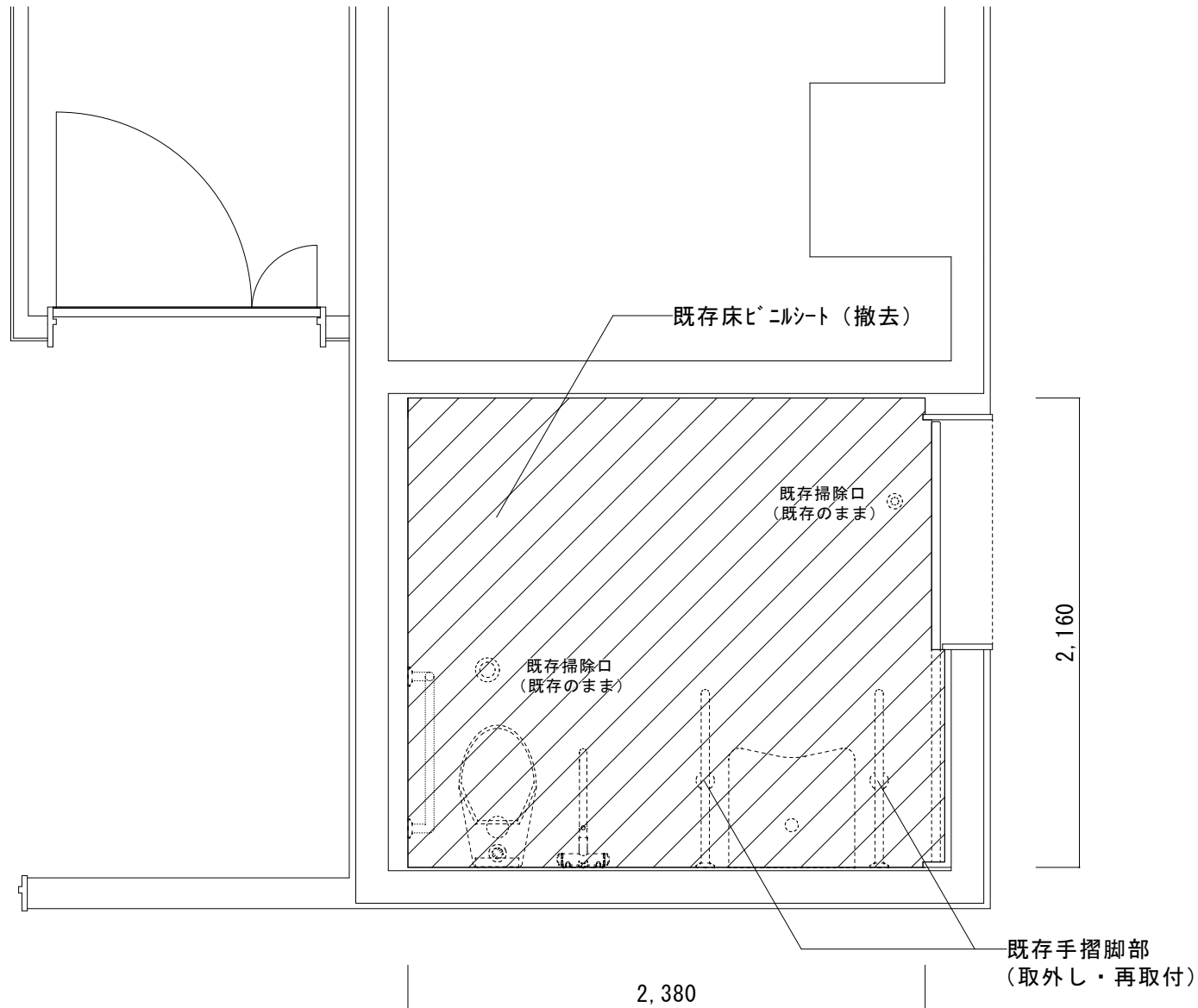
仕上表 改修前

床	ビニル床シートt=2.0 (7スﾊﾞｽ含有みなし撤去)
巾木	SUS製巾木 H=70 (既存のまま)
壁	下地: 耐水せっこうボードt=12.5 仕上: 化粧けいカルシウム板t=6 (既存のまま)
天井	下地: せっこうボードt=12.5 仕上: ロックウール吸音板t=9 (既存のまま)
便器	洋便器 (既存のまま)
その他	洗面台×2 (既存のまま)
	洋便器用L型手摺 (既存のまま)
	洋便器用はね上げ手摺 (既存のまま)

床	ビニル床シートt=2.0 (新設)
巾木	SUS製巾木 H=70 (既存のまま)
壁	下地: 耐水せっこうボードt=12.5 仕上: 化粧けいカルシウム板t=6 (既存のまま)
天井	下地: せっこうボードt=12.5 仕上: ロックウール吸音板t=9 (既存のまま)
便器	洋便器 (既存のまま)
その他	洗面台×2 (既存のまま)
	洋便器用L型手摺 (既存のまま)
	洋便器用はね上げ手摺 (既存のまま)

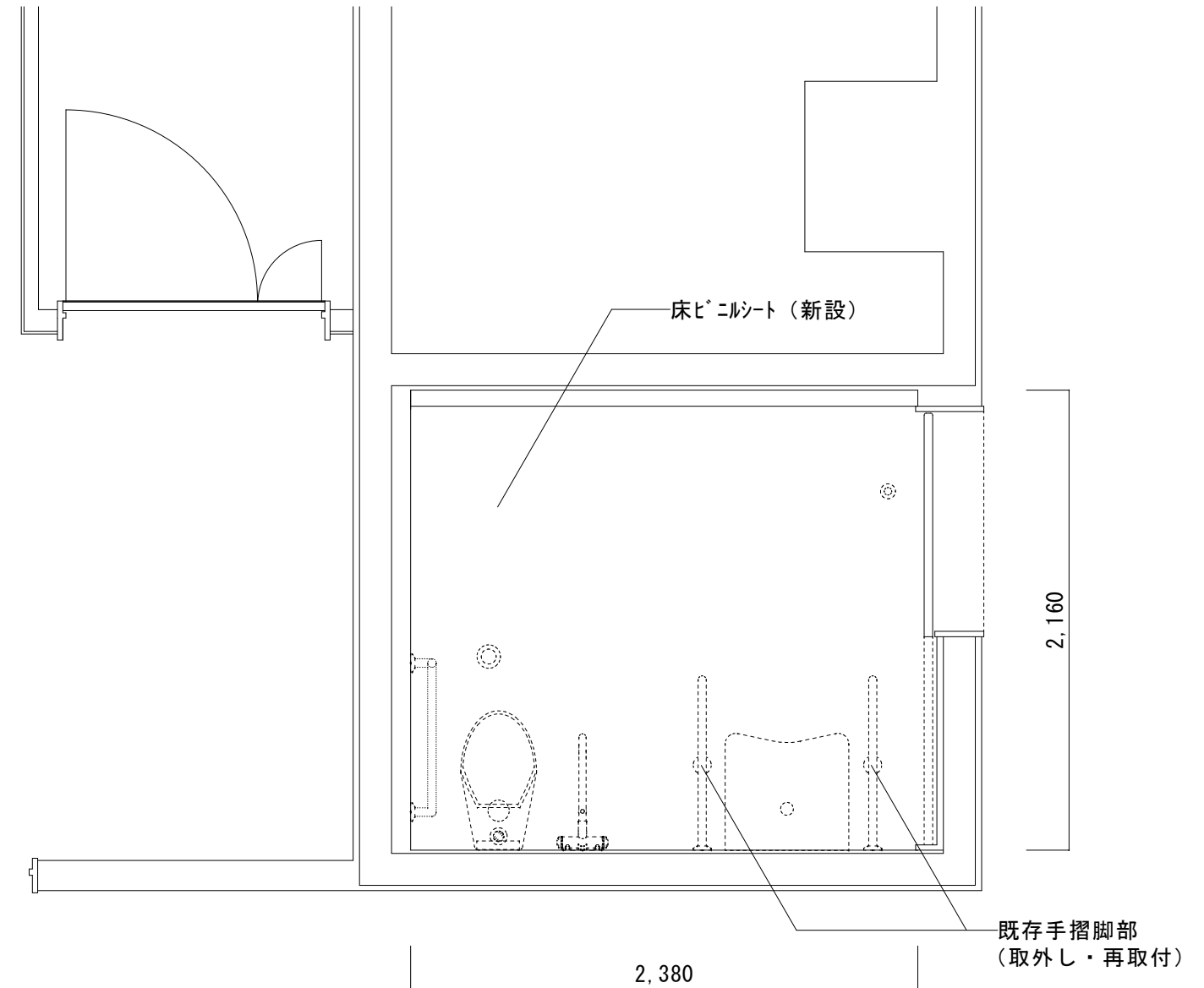


既存 会議棟3階多目的便所



既存平面詳細図 S=1/30

改修 会議棟3階多目的便所



改修平面詳細図 S=1/30

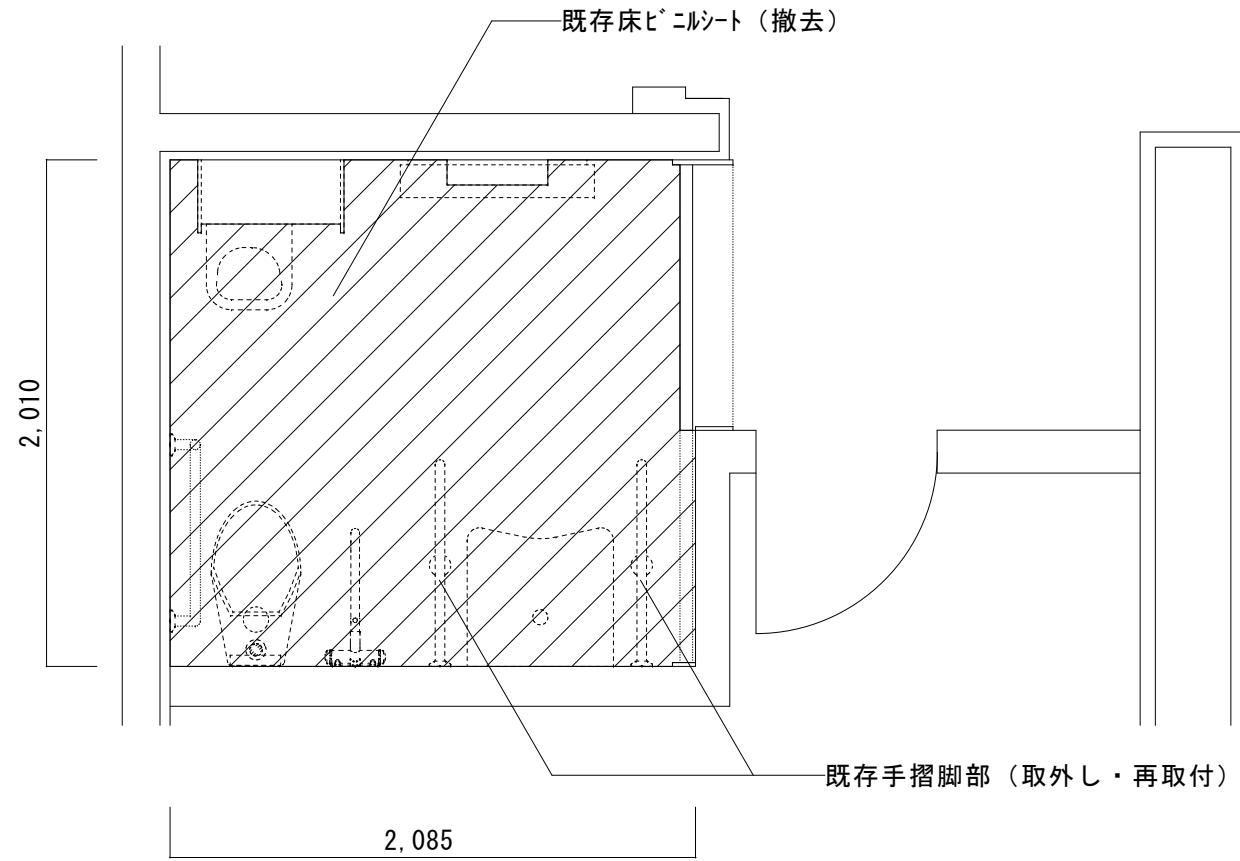
仕上表 改修前

床	ビニール床シートt=2.0 (7スﾊﾞｽ含有みなし撤去)
巾木	SUS製巾木 H=70 (既存のまま)
壁	下地: 耐水せっこうボードt=12.5 仕上: 化粧けいカルシウム板t=6 (既存のまま)
天井	下地: せっこうボードt=12.5 仕上: ロックウール吸音板t=9 (既存のまま)
便器	洋便器 (既存のまま)
その他	洗面台 (既存のまま)
	洋便器用L型手摺 (既存のまま)
	洋便器用はね上げ手摺 (既存のまま)
	洗面台手摺 (脚部のみ取外し・再取付)

仕上表 改修後

床	ビニール床シートt=2.0 (新設)
巾木	SUS製巾木 H=70 (既存のまま)
壁	下地: 耐水せっこうボードt=12.5 仕上: 化粧けいカルシウム板t=6 (既存のまま)
天井	下地: せっこうボードt=12.5 仕上: ロックウール吸音板t=9 (既存のまま)
便器	洋便器 (既存のまま)
その他	洗面台 (既存のまま)
	洋便器用L型手摺 (既存のまま)
	洋便器用はね上げ手摺 (既存のまま)
	洗面台手摺 (脚部のみ取外し・再取付)

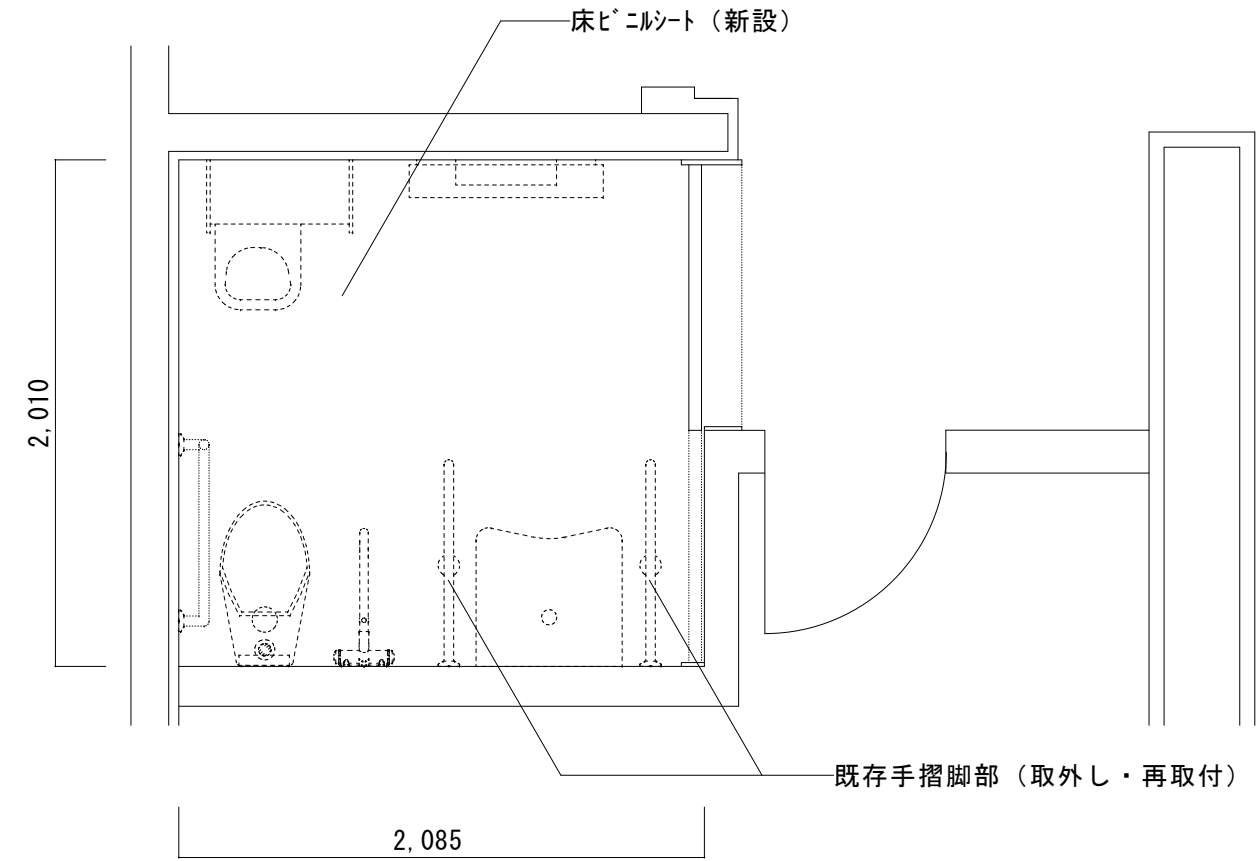
既存 7階多目的便所



既存平面詳細図 S=1/30

床ビニシート改修範囲

改修 7階多目的便所



改修平面詳細図 S=1/30

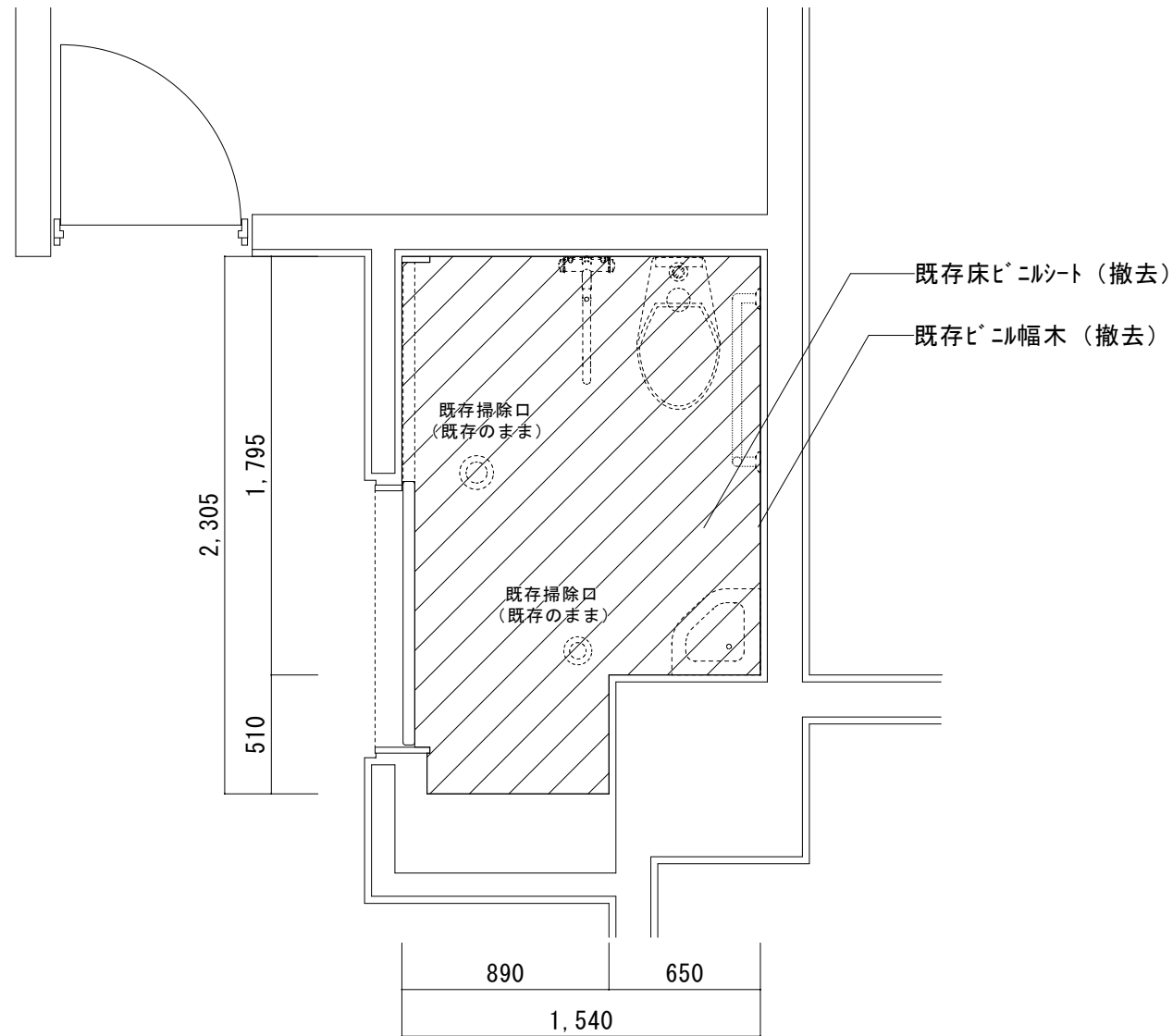
仕上表 改修前

床	ビニ床シートt=2.0 (7スﾊﾞｽ含有みなし撤去)
巾木	SUS製巾木 H=70 (既存のまま)
壁	下地: 耐水せっこうボードt=12.5 仕上: 化粧けいカルシウム板t=6 (既存のまま)
天井	下地: せっこうボードt=12.5 仕上: ロックウール吸音板t=9 (既存のまま)
便器	洋便器 (既存のまま)
その他	洗面台 (既存のまま)
	洋便器用L型手摺 (既存のまま)
	洋便器用はね上げ手摺 (既存のまま)
	洗面台手摺 (脚部のみ取外し・再取付)
	汚物流し (既存のまま)

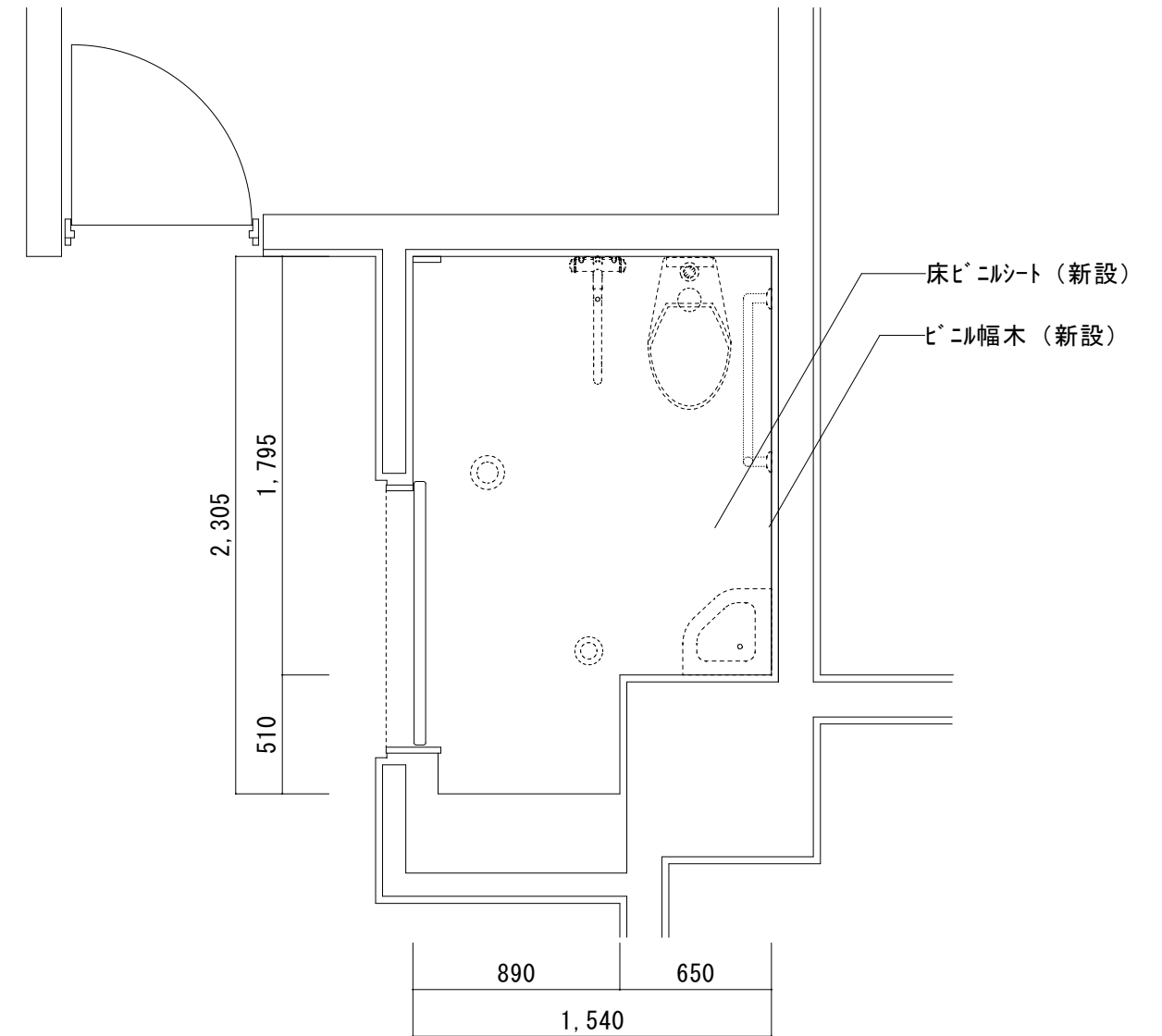
床	ビニ床シートt=2.0 (新設)
巾木	SUS製巾木 H=70 (既存のまま)
壁	下地: 耐水せっこうボードt=12.5 仕上: 化粧けいカルシウム板t=6 (既存のまま)
天井	下地: せっこうボードt=12.5 仕上: ロックウール吸音板t=9 (既存のまま)
便器	洋便器 (既存のまま)
その他	洗面台 (既存のまま)
	洋便器用L型手摺 (既存のまま)
	洋便器用はね上げ手摺 (既存のまま)
	洗面台手摺 (脚部のみ取外し・再取付)
	汚物流し (既存のまま)

既存 東棟1階多目的便所

改修 東1階多目的便所



既存平面詳細図 S=1/30



改修平面詳細図 S=1/30

床ビニルシート改修範囲

仕上表 改修前

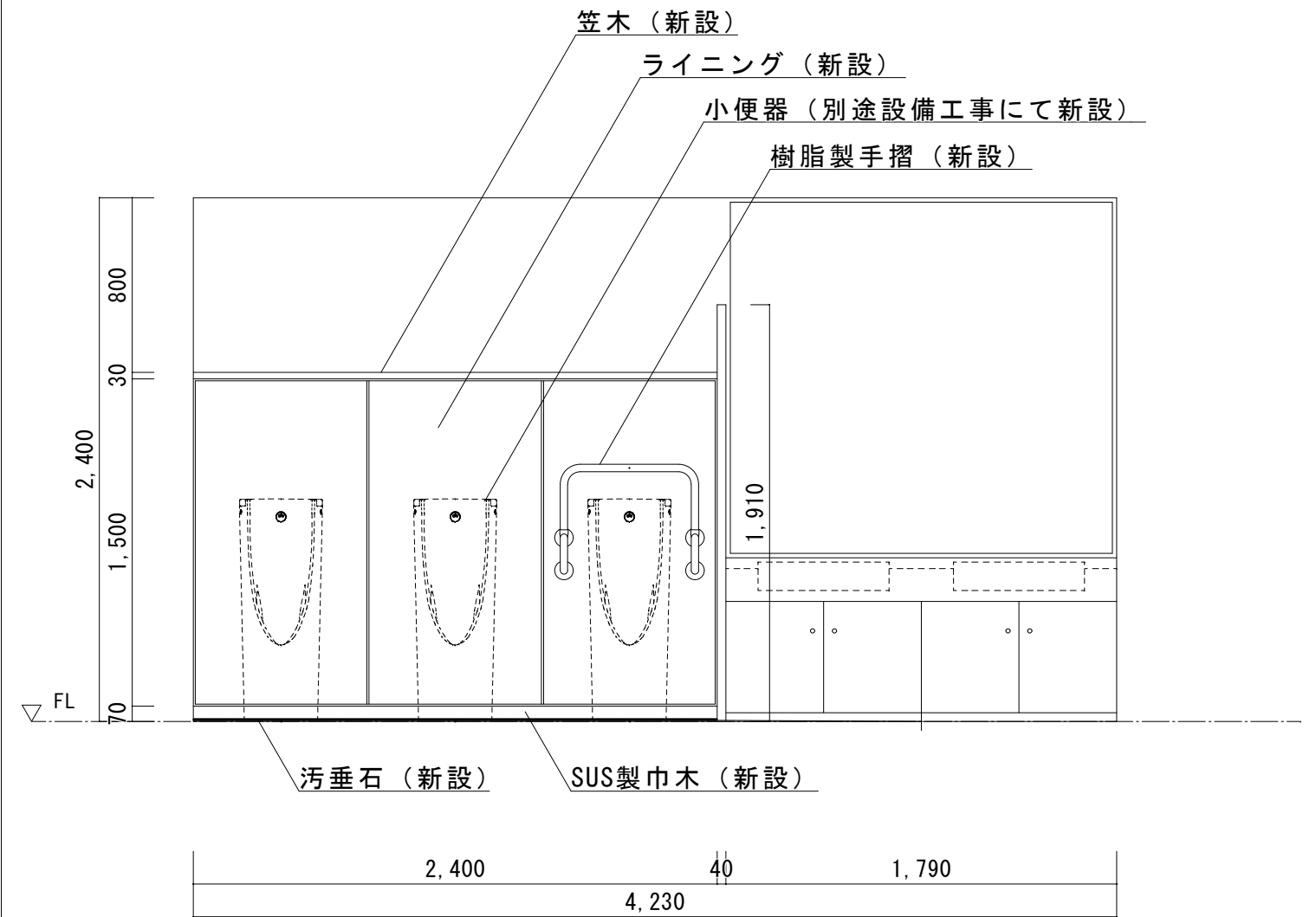
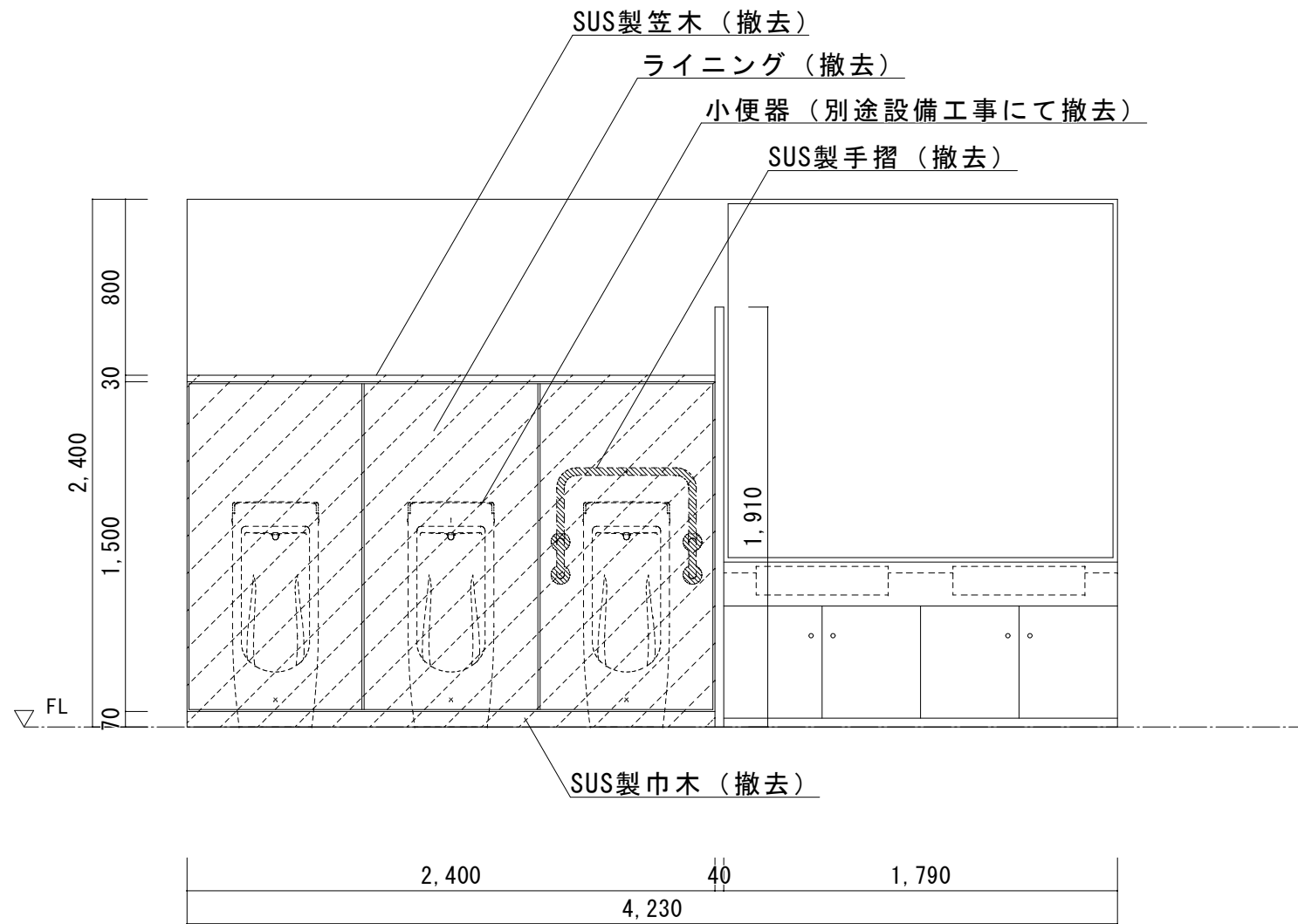
床	ビニル床シートt=2.0 (アスベスト含有みなし撤去)
巾木	ビニル巾木 H=70 (アスベスト含有みなし撤去)
壁	下地：耐水せっこうボードt=12.5 仕上：化粧けいカルシウム板t=6 (既存のまま)
天井	下地：せっこうボードt=12.5 仕上：ロックール吸音板t=9 (既存のまま)
便器	洋便器 (既存のまま)
その他	洗面台 (既存のまま)
	洋便器用L型手摺 (既存のまま)
	洋便器用はね上げ手摺 (既存のまま)

仕上表 改修後

床	ビニル床シートt=2.0 (新設)
巾木	ビニル巾木 H=70 (新設)
壁	下地：耐水せっこうボードt=12.5 仕上：化粧けいカルシウム板t=6 (既存のまま)
天井	下地：せっこうボードt=12.5 仕上：ロックール吸音板t=9 (既存のまま)
便器	洋便器 (既存のまま)
その他	洗面台 (既存のまま)
	洋便器用L型手摺 (既存のまま)
	洋便器用はね上げ手摺 (既存のまま)

改修前 S=1/30

改修後 S=1/30



ライニング 改修範囲

仕上表 改修前

便器	小便器×3 (別途設備工事にて撤去)
ライニング	下地: LGS・耐水せっこうボード t=12.6 仕上: 化粧けい酸カルシウム板 t=6 (アスベスト含有みなし撤去)
	SUS製笠木 (撤去)
	SUS製巾木 H=70 (撤去)
	小便器用手摺 (撤去)

仕上表 改修後

便器	小便器×3 (別途設備工事にて新設)
ライニング	下地: LGS・耐水せっこうボード t=12.6 仕上: 化粧けい酸カルシウム板 t=6 (新設)
	笠木 TOTO MLK1同等品 (新設)
	SUS製巾木 H=70 (新設)
	小便器用手摺 TOTO T112CU22同等品 (新設)
	汚垂石 TOTO AB680BR同等品 (新設)

参考数量書

§ 工事名称 福山市庁舎便所改修工事

§ 工事場所 福山市東桜町3番5号

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事建築数量積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市庁舎便所改修工事

工事場所 福山市東桜町3番5号

【設計概要】
便所改修工事 一式

- ・会議棟1階男子便所
- ・会議棟2階男子便所
- ・会議棟3階男子便所
- ・会議棟1階多目的便所
- ・会議棟2階多目的便所
- ・会議棟3階多目的便所
- ・東棟1階多目的便所
- ・7階多目的便所

【別途工事】

- ・給排水衛生設備工事
- ・電気設備工事

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
建築工事	1	式		
計				

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
会議棟1階男子便所	1	式		
会議棟2階男子便所	1	式		
会議棟3階男子便所	1	式		
会議棟1階多目的便所	1	式		
会議棟2階多目的便所	1	式		
会議棟3階多目的便所	1	式		
東棟1階多目的便所	1	式		
7階多目的便所	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

会議棟1階男子便所						
名	称	数	量	単位	金額	備考
直接仮設		1		式		
会議棟1階男子便所小便器改修工事		1		式		
	計					

会議棟2階男子便所						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1		式		
会議棟2階男子便所	小便器改修工事	1		式		
	計					

会議棟3階男子便所						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1		式		
会議棟3階男子便所小便器改修工事		1		式		
会議棟3階男子便所床改修工事		1		式		
	計					

会議棟1階多目的便所						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1		式		
会議棟1階多目的便所床改修工事		1		式		
	計					

会議棟2階多目的便所									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設		1		式					
会議棟2階多目的便所床改修工事		1		式					
	計								

会議棟3階多目的便所									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設		1		式					
会議棟3階多目的便所床改修工事		1		式					
	計								

東棟1階多目的便所					
名 称	数 量	単 位	金 額	備 考	
直接仮設	1	式			
東棟1階多目的便所床改修工事	1	式			
計					

7階多目的便所						
名	称	数	量	単位	金額	備考
直接仮設		1		式		
7階多目的便所床改修工事		1		式		
	計					

発生材処理									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
発生材処理		1		式					
計									

会議棟1階男子便所		会議棟1階男子便所小便器改修工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
既存手摺撤去	小便器手摺 集積共	1	式			
ライニング笠木撤去	集積共	2.4	m			
ステンレス幅木撤去	集積共	2.4	m			
シーリング撤去	ライニング部 アスベスト含有みなし撤去 集積共	8.5	m			
ライニング撤去	化粧ケイカル, 下地ボード, 軽鉄壁下地 アスベスト含有みなし撤去 集積共	3.9	m ²			
ライニング設置 化粧ケイカル張り	W2,400 H1,600 化粧ケイカル, 下地ボード, 軽鉄壁下地 材工共	3.9	m ²			
ライニング笠木新設	TOTO MLK1同等品 t=12 d=300 材工共	2.4	m			
ステンレス幅木新設	ライニング部分 SUS304 巾75 厚2.0 材工共	2.4	m			
汚垂石設置面 下地調整	下地モルタル金コテ押さえ 材工共	1	式			
汚垂石新設	TOTO AB680BR同等品 材工共	2.4	m			
汚垂石特注加工費 穴開け加工		3	か所			
シーリング	ライニング部 汚垂石部 材工共	13.3	m			
手すり設置	TOTO T112CU22同等品 小便器 樹脂被覆タイプ 材工共	1	か所			
計						

会議棟2階男子便所		会議棟2階男子便所小便器改修工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
既存手摺撤去	小便器手摺 集積共	1	式			
ライニング笠木撤去	集積共	2.4	m			
ステンレス幅木撤去	集積共	2.4	m			
シーリング撤去	ライニング部 アスベスト含有みなし撤去 集積共	8.5	m			
ライニング撤去	化粧ケイカル, 下地ボード, 軽鉄壁下地 アスベスト含有みなし撤去 集積共	3.9	m ²			
ライニング設置 化粧ケイカル張り	W2,400 H1,600 化粧ケイカル, 下地ボード, 軽鉄壁下地 材工共	3.9	m ²			
ライニング笠木新設	TOTO MLK1同等品 t=12 d=300 材工共	2.4	m			
ステンレス幅木新設	ライニング部分 SUS304 巾75 厚2.0 材工共	2.4	m			
汚垂石設置面 下地調整	下地モルタル金コテ押さえ 材工共	1	式			
汚垂石新設	TOTO AB680BR同等品 材工共	2.4	m			
汚垂石特注加工費 穴開け加工		3	か所			
汚垂石特注加工費 切断加工		240	cm			
シーリング	ライニング部 汚垂石部 材工共	13.3	m			
手すり設置	TOTO T112CU22同等品 小便器 樹脂被覆タイプ 材工共	1	か所			
計						

会議棟3階男子便所		会議棟3階男子便所小便器改修工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
既存手摺撤去	小便器手摺 集積共	1	式			
ライニング 笠木撤去	集積共	2.4	m			
ステンレス幅木撤去	集積共	2.4	m			
シーリング 撤去	ライニング部 アスベスト含有みなし撤去 集積共	8.5	m			
ライニング 撤去	化粧ケイカル, 下地ボード, 軽鉄壁下地 アスベスト含有みなし撤去 集積共	3.9	m ²			
ライニング 設置 化粧ケイカル張り	W2,400 H1,600 化粧ケイカル, 下地ボード, 軽鉄壁下地 材工共	3.9	m ²			
ライニング 笠木新設	TOTO MLK1同等品 t=12 d=300 材工共	2.4	m			
ステンレス幅木新設	ライニング部分 SUS7075 巾75 厚2.0 材工共	2.4	m			
汚垂石新設	TOTO AB680BR同等品 材工共	2.4	m			
汚垂石特注加工費 穴開け加工		3	か所			
シーリング	ライニング部 汚垂石部 材工共	13.3	m			
手すり設置	TOTO T112CU22同等品 小便器 樹脂被覆タイプ 材工共	1	か所			
計						

